日伯新聞
Caixa No. 375
Phone. 2-3926
サンパウロ市ジョルダン一四六番
日伯新聞社
本紙定價一年金三十ミル
外國郵税共金六十ミル
後行所
一十四字詰一行八百レース
一回及八回二百レース

革命と救濟病
領事館氣をつけ

革命騒ぎは決して好ましいことではないが、今回の如く州を賭して憲政復活のため、二つにはパウリスターノの興敗のために戰つてる限り、何所までも勝たねばならぬ、また勝たさねばならぬ、從つてパウリスターノなると外國人なると問はず、一致にあらゆる犧牲を拂つて善處してゐるのである、革命騒ぎで商賣を妨げられ、職を失くして困るのは内外人皆同じである而も此際何人も泣事を云はず我慢をして居る、既に何万と云ふ人間が義勇兵となつて鐵砲丸の飛ぶ所へ往つてるのだ、革命で困るとか何とかは云へた義理ではない

然るに聖市に在住する日本人の一團は、恥かし氣もなく先頃寄合を催し、今回の革命で困つてる人があるから、一つ總領事館から救濟金を出して貰つてはどうかとの相談をやつた由である、而して八十何家族かの名前を書き出し歎願に及んだとのことである、ムイトベン、その音吐取敢何人かと云ふと平常から仕事が嫌ひで、葬式の世話だの結婚の仲介だのをやつてる男である、以前千九百二十四年の革命の時も此の手合が同じ事をやり、時の總領事齋藤和が新米で事情を知らぬ所からマンマと救濟金を出させ、お金分配までさせよかつたが、平和克復後、返濟したのは鹿兒島縣人の團体だけで、他は皆猫ババをきめ込み今日に至るも一文も返してない、其記錄はまだ確かに領事館に殘つて居る筈である

革命で困つてる人のあることは事實だ、イヤ大なり小なり困つて居ない者は一人もないと云ふ方が本當であらう、殊に其日暮しをして平常少しも貯へを持たぬブラジル人の困り方は更にヒドからうと想像される、然るに日本人が僅かに三週間革命騒ぎがあつたらモウ喰へないとあつて法如何にも情けなさ過ぎる、それも市内に鐵砲丸が飛び糧食攻めにでも遭つてるのなら兎に角、戰爭は七、八十里もの遠方でサンパウロ市内の生活は平常と少しも變らない、寧ろ物によつては疎業の戰時動員で平常よりも忙しくなつてる所もあり、革命をアテ込みの商賣なども起きてる程である、只一般に不景氣だと云ふに過ぎない

救助を申出た八十何家族は實際に喰へず、それとて米も鹽も一粒も持ぬかと云ふと、中にはそんなのもあるか知らぬが、多くは「貰へるものなら損は無いまあ名前だけは出しておけ」と云ふ手合である、一体二、三週間どうかすると直ぐ喰へなくなつてお助けを申出る日本人は何縣の誰と誰とだいと新聞にでも少々困つてる人があるからとて鄭重することにしたら、大抵は引込めてしまふであらう、日本人は何所へ往つても、イザとなれば握り飯と鹽と水さへあれば三週間や一ケ月は生きて行けるのだ、それがどうであらう、獨りサンパウロ市内の一部の日本人だけは何ぞと云ふと領事館の救助だ、明らさまに云へば市内日本人の時局による生活戰線はまだ米鹽水の域には達して居ない、今後革命が二、三ケ月も續けば兎に角現在終りは眼前に見えてるではないか、不幸にして革命騒ぎが長續きするとしてもこれは領事館などへ擔込む筋合のものでなく、在留民側互同志の間で片付く可きものである、少々困つてる人があるからとてそれをオトリに仰々敷救濟金をつないで行くと云ふから日本人どを作り領事館から金をせしめたが——、

やうとするのは以ての外だ、愈々救濟せねばならぬとなれば他にいくらも方法がある、第一わか二、三週間どうかすると直ぐ喰へなくなる手合は、革命が無くとも喰へないのだ風引だつて二三週寢込むことは能くある、その都度救助を仰がねば生きて行けない者は始から都會生活には不向なのだ、此際思ひ切つて奥地のファゼンダに往つてエンシャーダ曳くに限る、その世話なら海興がやつてくれる

何れにしても市内日本人の救濟はまだ其時期でない、奥地の日本人が無付なしの間から赤十字後援に身を入れてる間に、獨りサンパウロ市の一部の日本人だけが、喰へぬから助けて呉れと領事館へ歎願に出るとは、何と云ふコントラストであらう、喰ひしばつて我慢をして米と鹽と水とで非常の場合は命をつないで行くと云ふから日本人

市民の反感を增大しつゝ
護憲軍討伐を畫策
徹底的な獨裁政府の彈壓振り

一昨日未明聖州民主黨幹部パウロ・ノゲーラ・フイリヨ氏以四名の少壯將校と共にリオを脫出幾多の艱苦と戰ひつゝ戰線を突破して無事聖市に辿りついたがリオの狀態につき同日夕往訪の記者に次の如く語つた

リオ脫出の方法に就いては未だ我等と同じく護憲軍に參加のため脫出し又は脫出の準備をしてるものあり、彼等の安全の爲詳細を語ることは長上から止められ其自由を有たない市脫出後變裝し或時は徒步で又或る時は馬の背を借り獨裁政府軍の間斷ない警戒網を潛り拔けてやうやくダウバテに辿りつきホッとした

リオ市民

革命以來悉く護憲運動に好意を寄せてをり學生團は突發直後アベニーダ・リオ・ブランコの美術學校前庭にサンフランシスコ廣場に於てサンパウロに共鳴し憲政復歸の示威集會を行つたが、アルベルト大佐の率ゐる警官隊により催涙彈、馬蹄さては實彈の見舞を受け多數の死傷者を出す慘狀を演出した、斯ある慘虐極まる迫害に遭ひ乍らも市民の護憲運動は納まらず、爲にクルブ・トレス・デ・オーツ

プロではジヨルナル・デ・サンパウロといふ

新聞を發行

し、今次サンパウロの運動は共産主義を率ゐる分離派の策謀による純共產運動である等宣傳し市中に頒布することにしたが、斯かる兒戲に類する手段では到底市民を瞞着することは出來ず遂には此新聞に唾もかけなくなつた

海軍は總て護憲派

戰艦サンパウロ號はプロトゼネス海相より陸戰隊五千をサントス港に上陸せしむべき命令を受けたが同艦長アンフイロキオ・レイス大佐は之を拒み『自分としては命を奉じてサントスに赴き聖州を攻撃することは絶對に出來ない』と云ひ更に『若し艦長を更迭せしめれば士官が新長官の命に從はぬであらう、又若し其士官を更迭すれば水兵も亦之を拒むであらう』と附言し遂にサントス攻撃を斷念せしめた、他艦も護憲運動に共鳴し恐らく今次事變に際し總始一貫絶對中立の態度を持するであらう

タツソ參謀總長

辭職か

軍隊は海軍側ばかりでなく陸軍に於てもカルドーゾ陸相は最初ジョオン・ゴーメス將軍を聖州討伐軍司令官に起用する筈であつたが同將軍は明快に出征を拒みて受けず、爲にゴエス・モンテーロ將軍が獨り州境に乘り出し聖州討伐軍を指揮してゐる、ゴエス將軍の此態度は參謀本部の權威を蔑にするものとして強硬タツソ・フラゴソ將軍は辭職の決心を有つてゐると傳へられたが恐らく既に實行してゐるであらう

ゼツリオ大統領
軍隊を信ぜず

リオ・デ・ジヤネーロに於ける護憲派に屬する軍人は數名の將軍を含む多數の高級將校で大統領の宣を信ぜるアルベルト大佐の此等將校に對する監視は嚴重なもので給料を倍加して其配下の忠實なる監視を期待してゐる、斯かる狀態ゼツリオ大統領は肝心の陸軍を信用出來ない場合に立至り遂に一旦クーニヤ方面の討伐軍司令官として出征したアルベルト大佐を二十五日喚び寄せ再び警視總監として市中の警備に衝らせることにしたのである

マウリシオ氏
密使を帶び來聖
使命を果さず逐返さる

をいたき敵對する如き氣分は絶對に持ち合せてゐないと云つてゐる

斯る際

護憲派にとつて更に頼母しい情報が齎らされた、去一日未明前法相マウリシオ・カルドーゾ氏の來聖の報がそれである、當時クルブ・トレス・デ・オーツプロを脫會し左翼軍人派と手を切つたデヤルマ・ピネーロ・シヤーガス氏がミナスより入聖して更に聖州側に或る種の光明を與へた

即ち氏の入聖は明かにミナス二大政派中の一が護憲運動に積極的に加擔せんとする物語るものであつて、入聖後氏自身もそれを證明し且つ氏の言に依れば

軍將ロドジイ帥總軍護憲護ゼを視巡をタスリウパウ・ンオ（寫日一）

ればミナス州民中九十%は東心より憲政の即時復歸を冀ひ聖州軍のミナス進出に對しは寧ろ歡迎こそすれ之に怨恨のであつたが、就任以來數ケ月を出でざるに臨時政府に蟠居せる左翼軍人派の橫車に耐えやら

ず、折柄擡頭せる憲政克復問題を中心として此理論政治家軍人派との間に惹起まれ、溝渠を生じ、間もなく爆發に至る自由派新聞デイアリオ・カリオカ襲撃事件の後任乘に關する意見合はず、遂に警視總監パスタ・ルザルド、勞働大臣リンドルフオ・コロール、伯銀總問ジョオン・ネーヴエスの三氏と共に袂を連ねて政府を去り鄉里に隱退したのである、氏は

今次革命運動

共和、解放両黨並にフロレス執政官の旨を受け同州を代表して出府、兩黨グワナバラ・パレースを本據として臨時政府首腦部と交渉を續けてゐたが、今度來聖まで極秘裡に行動して新聞記者とも會見を殆んど避け何等責任ある談話を發表してゐない、氏の來聖の使命が何であるかは素より極秘に附されてゐるが其出府に際して南リオグランデを代表し其後二旬近くリオに留まり臨時政府と折衝を續けて來たことであれば或は兩者の間に臨時の大役を背負つてゐるのではなかと取沙汰されてゐる、それが事實であるとすればもと〳〵純粹の護憲派たる氏が聖州の面目に關する提案を示すが如きは有り得べからざる所で、氏の努力が果して如何なる成果を齎らすか、聖州人が氏に期待するところ甚だ大いなるものがある、尙氏は滯在二日にして自動車でミナス經由密かにリオに歸つた

新紙幣は強制的
拒むものは嚴罰

去十八日附州大藏省令によつて公布された大藏省利札は州政府伯銀裏書の手形發出銀行並に該手形裏書人たる伯銀と三重に保證され絶對確實のもので實質的に紙幣と變りなく又が行使は州政府によつて強制され受取を拒むことが出來ない

尙、右利札の實際市中に出たのは去三十日以後である

珈琲外物產の
州外輸出禁止

州政府では時局に鑑み珈琲以外の物產の州外への無斷輸出を禁じ、止むを得ざる場合には一々理由を具申して州農務局の許可を受くべきことに廿八日規定公布した

之が取締には主として州境の郡長、特派技術員が衝り違反行爲發覺の場合は直ちに之を押收、違反者は嚴罰に處せられ、押收品は軍需課に送られる筈

ガゾリンの
私用禁止
消費取締令公布

四方の門戶を鎖されてガゾリン供給の道が全く杜絶したので當局は事變勃發直後關係會社の實任者を召集して其ストックを調査し一般市民に對しては勿論私用を節するやう警告を發する所があつたが更に二十八日に至りガゾリン消費取締令を公布し、使用者は其一日の消費量を交通省に届出で之に該當する手札の交付を受け購入に際しては之を其都度提示することにしたが更に其後

營業用貨自動車並に醫者の外は一切ガゾリンの購入を禁ずることゝなりストックの全量を擧げて軍事に使用することに規定した、一両日前からサントスに於ても同樣實施中である、

CASA TOZAN
MIZUKAMI & CIA.
COMMISSARIOS
PRAÇA MAUÁ, 25
Caixa Postal, 911 - Teleph. 2837 - End. Teleg. "TOZAN"
SANTOS

弊店取引方法ハ御照會次第御回報申上候

珈琲コミサリオ
カーザ東山
ミヅカミ・イ・コンパニヤ
サントス市
電話 セントラル二八三七號
郵函 九一一號
電信略號 TOZAN

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA LTDA.
(THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.)
Rua da Candelaria No. 23
CAIXA POSTAL, 380 — RIO DE JANEIRO
切り取りて手紙の表にはられたし
鄉里送金
一、御送金の伯貨は當店にて受取たる當日の爲替相場にて日本金に換算可仕候
二、日本内地郵便爲替料、書留料其他總て當店にて負擔致し即ち全く無手數料にて鄉里の受取人へ御送り届け申上候
三、金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶橫濱正金銀行勘定として
Banco Commercial do Estado de São Paulo
又は御便宜の方は
Banco Noroeste do Estado de São Paulo
へ御拂込被下候ても遠支無之候
四、何れにしても送金申込書は必ず忘れず當店へ御送り下されたく
日本貨定期預金利息六ヶ月以上四分二厘
伯貨定期預金（小口）
伯貨當座預金年二分取扱不申
預金用紙は御請求次第直に御送致
御不審の點は御遠慮なく御問合被下度候
預金通帳は書留郵便にて御送付可仕候
簡便申込の際最寄郵便局御指定相成り候
横濱正金銀行
リオ・デ・ジヤネイロ支店

これは美事!!
日伯社の「フオリンニヤ」
……美麗廉價……
皆樣新春の御用意を
日伯社營業部
同リンス支局

獨裁政府の壽命 旦夕に迫る

イジドロ、クリンゲル兩將軍 政權讓渡を勸告

昨朝十時頃より聖市々内に大騒動突發して臨時政府は崩壞し、閣員の或る者は牧監され或る者は逃亡した運動の首謀者はマウリシオ・デ・ラセルダ、アドルフオ・ペルガミーニ兩氏でアジリオ・バラッタ中尉の援助を得て消防隊を動員し一方海軍は陸戰隊を上陸せしめて之を援け市民と共にカテ、を乘取つたといふ噂がパット弘まり折柄降りしきる豪雨を物ともせず市民は狂喜して此吉報を語り合ひ降く間に全市に擴がつたが誰一人として其出所を確答し得るものなく、軍司令部に於ても之を否定する始末に、さて政府軍の間諜に一杯喰はされたかと迄疑ふに至つたが、午後に至り、イジドロ、クリンゲル兩將軍の名に於てゼツリオ大統領に辭しタツソ・フラゴーゾ、メンナ・バレツト兩海軍並にイザイアス・デ・ノローニヤ攝督に政權を讓渡を發し、同時に同じく兩將軍の名に於て、前記軍部の三元老に對しゼツリオ氏より政權を讓り受けられたき旨の電報を發せること判明し、假令司令部の否定あるとも、尠くとも獨裁政府の壽命が旦夕に迫れることは確實となつた

リオより廻航船 立往生

サントス港外で

聯邦臨時政府はリオ在留者中寡婦によつてサンパウロへの送を絶たれた者の爲にロイド社船コンマンダンテ・アルシヂオ號を特にサントスへ廻すことになり歸路同樣の事情に在るサンパウロ在留者をリオへ送るべく二十九日サントス守備隊司令官へ海相より通知あり同船は三十一日サントス入港の豫定だつたのでサンパウロ側でも夫々希望者に對して遺行許可證を與へ外國人は當該國領事館の手を經て手續を濟ませサントスへ下つたものは約七百名に上つたが當日入港の筈のアルシヂオ號船長は大統領の命とあつてグワルジア沖に於てリオよりの便乘者を下船せしめポートにてサントスに送りサントスよりの乘船者も全樣の方法を以てリオへ送るべくサントス守備隊司令官へ通知せる所、司令官は準備へ横付し所定の檢査を經ざる限り下船させずと返電、押問答の末妥協成らず

ジョツキ倶樂部 警視總監を除名

アルベルト大佐海軍側と不和

アルベルト大佐が去二十六日戰線より急遽歸り再び警視總監の職に復したことはリオ市中が明かに不穩狀態に陥つたことを物語るものであるが、其後の情報によれば大佐はさきにサントス砲擊の命を肯ぜざる戰艦ナンパウロ號艦長アメリコ・レイス氏と艦内に於て渡り合ひ激論の末軍艦より追ひ返されたが、同艦長の此態度は全海軍將校に反響し、さきにサントス封鎖の命を帶びてサンセバスチョンを本據とし沿海を巡邏中の軍艦は何れへか姿をかくして仕舞つた、而して之を動機としてブロトゼネ海相とアルベルト大佐との間に溝渠を生じつゝあるが大佐は今次事變に際し總司令部の自由を一切奉ひ自分の製造に係る虚報を撒いて市民を盲目にせる廉を以て上流社會よつて組織されてゐるジョツキ倶樂部より除名された

更に

と傳へられてゐるが、更に一説には大佐は一兩日前某外國銀行リオ支店に一千コントを自己名義で預けたがこれも云へば万一の場合に對する準備である筈々、大佐が獨裁大統領の股肱たる丈け其身邊に對する巷說頻々たるものがあると

赤十字寄附

(第三回發表) 赤十字後援團

アントニオ・カロス・デ・アツスンソン、ジョアキン・カルドーゾ・デ・メロ、タデウ・ノゲーラ、ロバード・シモンゼン、スマ・デ・オリベーラ

日米一俵、豆一俵

コチア・ノーバ・エスペランサ小學校職員兒童

マンジョカ粉一俵

日伯物産株式會社

百十鈑 フレゲジャード梶山倉

百十鈑 之助世話明細下記の通り

十鈑宛 都村靜雄、山崎隆、米山伊勢吉

五鈑宛 遠藤惠吉、草間瀧次郎

野崎茂一、川上半兵衛、古田

六沖、日向熊藏、梶山倉之助

三鈑宛 奥山覺太郎、藤原有一

今村順一、落合次郎、村本藤一、大本勝美、岩永西藏、津野鶴龜

二鈑宛 東末吉、永吉義彦、渡壁德右衛門、石本去人、永田秋之助、齋藤愛助、南部安次郎、田伏幸次

一鈑宛 坂庭始吉、古屋孫二郎

バタタ十俵

ジュケリー產業組合

蟲方寄附

バナナ一貨車(五百四十房)

ジユキヤ線セードロ驛古谷晨

園古谷重綱

バナナ一貨車(四百六十房)

ジユキヤ線セードロ日本人青年會

ドラヂンセ線ノーバ・バウリセ驛

白米五俵、豆四俵、ミーリヨ三俵、ピンガ二百立

明細下記の通り

白米一俵、豆一俵、ピンガ二百立

白米一俵 武田良助

豆一俵 竹原高一

ミーリヨ一俵 山田勘一

豆牛俵 川本公

武田耕墾內外人 平岡多吉

白米一俵 木村宇一、渡邊芳光

豆牛俵 溝口榮太郎、澤彦一、遠藤猪龜、

ミーリヨ一俵 穴澤定光、上島藤一

白米一俵 Leonardo Poncoski

豆一俵 Francisco Morães, Augusto Boeffi, Manoel Hlina, Sebastião R. de Paulo, Manoel Correa, Pedro Santinune

豆一俵 Ettore Fregado

ミーリヨ一俵 João Escarol, Bento dos Santos

同線ガビオン・ペイシヨット驛

白米一俵 山本晉松

豆一俵 山本勝松

パウリスタ線テラローシヤ驛ボ

ア・エスペランサ耕地 稲田一郎

豆二俵 中村忠吉

仝一俵

計三俵

モジアナ線ジャルディノポリス驛サン・ビヨン耕地

豆二俵 田中德治、阿部捨作、

佐野茂市、市川太郎、北村正男、清本徹美、山口忠雄

モジアナ線サンジヨゼー・ド・リオ・パルド驛ヴエラブエラ耕地

豆一俵 眞田喜平、原屋數三四郎

パウリスタ線カルヤ驛

十鈑 光永逸喜

ノロエステ線リンス驛グラマ耕地

二百三十鈑 明細下記

百鈑 笹谷新市、岩崎要

十鈑宛 佐藤吉次、久宮とよ

五鈑宛 宿屋三郎、長尾定吉、

ジオージ・ヴアルヂ

三鈑宛 沖本七五郎、田渡美義

柏木鶴太郎、淺野さみ、水守

孝造、北守萬太郎、丸岡兼吉

二鈑宛 岩崎佳三郎、大槻盛一

郎、林明、御竿勇三郎

一鈑宛 唐澤文理、岡野庄平、

宿屋卯吉、順藤留一郎、谷口

新吉、生田健治

パウリスタ線ピヤボチカバール

白米一俵、豆五俵 茂上克巳

白米一俵 澁谷耕造、石川善四郎

豆一俵宛 清藏、牧山文衛門

豆牛俵宛 吉川登一、通谷藤一

ノロエステ線バウルー驛

豆三俵 澤尾磯七

ノロエステ線グアイサラ驛フロリダ植民地

白米二俵宛 藤井內藏吉

白米一俵宛 荒木喜次郎、梅山政雄、沖田鶴龜、堀莞爾

白米牛俵宛 藤井俊一、中岡勇、

白米一俵宛 山田茂吉、山田大

白米牛俵宛 田中德男、角八、松尾午吉、田中德男、角

白米牛俵 上鐵酸、川崎德良

堀田逸雄、藤井彌八、久野雄

炎 上村義文、田中男、赤尾龍二

小川兄義雄、池菊治、今野文夫

三浦晃、田所忠義、栗野弘、

佐々木喜六、加藤政行

十ミル 松永鍋太郎、中

計三百三十四ミル

以上白米十一俵、豆三俵に換へ受取る

バウリスタ線バウルー在留者

一百ミル 齋藤等

五十鈑宛 沖山心平、芳賀仁吉

齋藤正一

三十鈑宛 山本茂美、篠原嘉七

二十鈑宛 石塚源四郎、東八重

彦、松田正一

十鈑宛 石賀政次、田中奪美、

太田元良、藤田泰一郎、加藤

晉一、知念忠直、長嶺由牛、

伊集院兼智、渡邊淳、伊舍良

雄助、與儀須賜、善里芳、島

袋樽、西銘蒲德、原眞昌、節

外聞重榮、高良龜吉、大澤蒲

Carlos Binatto

二ミル宛 岡田作雄、小林初幸

七ミル宛 菅波善助

八ミル宛 奥村卯三郎

五ミル宛 錄田重藏、古川守克

六ミル宛 大野與一、大出兵部、大井浩

北原舜一、鶴江喜代喜、上村

六郎、平山定、平山學治、森

惠次郎、上村忠義、青木篤哉

小池辰五郎、佐藤利助、佐藤

一、太郎、岸波常二郎、北村太

圓吉、井岡永正、瀨

野清三郎、五郎丸傳、田政

利、森勝次郎、口石清吉

二ミル宛 山口茂進、武本敦夫

小川芳文、田中男、赤尾龍二

小川芳雄、池菊治、今野文夫

三浦晃、田所忠義、栗野弘、

佐々木喜六、加藤政行

十ミル

計三百三十四ミル

以上白米十一俵、豆三俵に換へ受取る

バウリスタ線バウルー在留者

一百ミル 齋藤等

五十鈑宛 沖山心平、芳賀仁吉

齋藤正一

三十鈑宛 山本茂美、篠原嘉七

二十鈑宛 石塚源四郎、東八重

彦、松田正一

十鈑宛 石賀政次、田中奪美、

太田元良、藤田泰一郎、加藤

晉一、知念忠直、長嶺由牛、

伊集院兼智、渡邊淳、伊舍良

雄助、與儀須賜、善里芳、島

袋樽、西銘蒲德、原眞昌、節

外聞重榮、高良龜吉、大澤蒲

十鈑宛 平山常配、武井雲市、

竹本實雄

十鈑宛 奥村卯三郎

七ミル宛 岡田作雄、小林初幸

五ミル宛 錄田重藏、古川守克

六ミル宛 大野與一、大出兵部、大井浩

北原舜一、鶴江喜代喜、上村

六郎、平山定、平山學治、森

惠次郎、上村忠義、青木篤哉

小池辰五郎、佐藤利助、佐藤

一、太郎、岸波常二郎、北村太

圓吉、井岡永正、瀨

野清三郎、五郎丸傳、田政

利、森勝次郎、口石清吉

二ミル宛 山口茂進、武本敦夫

小川芳文、田中男、赤尾龍二

小川芳雄、池菊治、今野文夫

三浦晃、田所忠義、栗野弘、

佐々木喜六、加藤政行

十ミル

計三百三十四ミル

以上白米十一俵、豆三俵に換へ受取る

バウリスタ線バウルー在留者

一百ミル 齋藤等

五十鈑宛 沖山心平、芳賀仁吉

齋藤正一

三十鈑宛 山本茂美、篠原嘉七

二十鈑宛 石塚源四郎、東八重

彦、松田正一

十鈑宛 石賀政次、田中奪美、

太田元良、藤田泰一郎、加藤

晉一、知念忠直、長嶺由牛、

伊集院兼智、渡邊淳、伊舍良

雄助、與儀須賜、善里芳、島

袋樽、西銘蒲德、原眞昌、節

外聞重榮、高良龜吉、大澤蒲

財經審議會設置

州政府では未曾有の財政難に逢着したので之に極力善處する爲財經審議會を設置し議員に嘗て羅の權威を網羅することになり去二十八日左の五氏の任命を見た

白米一俵 木村宇一、渡邊芳光

豆牛俵 溝口榮太郎、澤彦一、遠藤猪龜、

ミーリヨ一俵 穴澤定光、上島藤一

白米一俵 Leonardo Poncoski

豆一俵 Francisco Morães, Augusto Boeffi, Manoel Hlina, Sebastião R. de Paulo, Manoel Correa, Pedro Santinune

豆一俵 Ettore Fregado

ミーリヨ一俵 João Escarol, Bento dos Santos

豆一俵 佐藤盛吉、武富朝夫、

淵田貞數

豆二十立 中野榮藏

計豆九俵、ミーリヨ七俵、白

米二俵、フバー俵、メント

イン一俵

アララクアラ線マツトン驛ヴエルヂニヤ耕地

豆一俵宛 森鐵藏、片岡春市、

正、鈴木茂雄、安藤祐義、錄

田右馬治、菅野廣平、德造、

村木操

山本喜市、花井儀市

豆牛俵宛 佐久間俊五郎、中村

計豆十三俵

メリヨラメント・デ・モンテアル

白米一俵宛 相馬德

ト線バナナ驛

白米一俵宛 阿部三九郎、兜森

卯之松、落合友次郎、早坂來

次、高橋隆雄、山谷健治、志

賀三次郎、長田義正、吉田傳

太、黑澤喜八、加藤實、大石

源吉、矢貝方黨、高橋忠一、

大補勝、保科松治、柴山幸

治、塚本源吉、宮崎信太郎

パウリスタ線アニユーマス農場

驛 山篤

北原舜一、鶴江喜代喜、上村

六郎、平山定、平山學治、森

惠次郎、上村忠義、青木篤哉

小池辰五郎、佐藤利助、佐藤

一、太郎、岸波常二郎、北村太

圓吉、井岡永正、瀨

野清三郎、五郎丸傳、田政

利、森勝次郎、口石清吉

二ミル宛 山口茂進、武本敦夫

小川芳文、田中男、赤尾龍二

小川芳雄、池菊治、今野文夫

三浦晃、田所忠義、栗野弘、

佐々木喜六、加藤政行

十ミル

計三百三十四ミル

以上白米十一俵、豆三俵に換へ受取る

バウリスタ線バウルー在留者

一百ミル 齋藤等

五十鈑宛 沖山心平、芳賀仁吉

齋藤正一

三十鈑宛 山本茂美、篠原嘉七

二十鈑宛 石塚源四郎、東八重

彦、松田正一

十鈑宛 石賀政次、田中奪美、

太田元良、藤田泰一郎、加藤

晉一、知念忠直、長嶺由牛、

伊集院兼智、渡邊淳、伊舍良

雄助、與儀須賜、善里芳、島

袋樽、西銘蒲德、原眞昌、節

外聞重榮、高良龜吉、大澤蒲

世界はうごく

チャコ交渉破れ ボ、パ兩國動員

【アッスンション一日發】ボリビヤ、パラグワヤ兩國々交上のが・ん・腫として係爭久しきに亘つたチャコ問題は圓滿なる解決を得るに至らず昨三十一日遂に交渉破裂して双方より宣戰を布告したと

パラグワヤ國外務大臣はアッスンション駐劄各締盟國使節に對し、從來各國よりボ、パ兩國々交の圓滿解決に對して寄せた好意を謝し事茲に到つた經緯を述べ、更にパラグワヤはチャコ問題に關しては常にボリビアに對し妥協的態度を持して來たと附言

パラグワヤ政府 動員令を下す

アッスンション政府は三十一日夜閣議に於て動員の決議をなし同時にグッヂアリ大統領は國會に對し十九歳以上二十九歳に至る壯丁の動員案を即時可議するやうメンサージエンを送つた

大統領の敎書は陸海軍の現役並に豫備編動員の承認に關するもので、ボリビア國が太平の世に於て不法にも武器を擁してチャコを襲ひつゝある際自衛上動員案の即時承認の要切なるものありと述べてるが

國會でも大統領の意を休し一日夕滿場一致之を可決した、一方義勇兵の募集盛んに行はれ既にメンドーサ大佐は義勇騎兵隊を組織してゐる

ボリビア軍 チャコへ進む

【アッスンション一日發】當市駐劄南米諸國外交團はボ、パ兩國係爭の和平解決の爲折角努力中だが、既にボリビヤ軍のパラグワヤ河方面進軍により恐らく不成功に終るであらうと見られてゐる、尙、華府來電によれば南米中立國の調停案に對してはボリビヤ國は既に自領チャコをパラグワヤ國に侵されてゐる今日自衛上默許出來ないとの理由で之に異議を申付け、ボリビア政當然パラグワヤ河沿岸の一部を領し太西岸と連絡をとる權利があると主張してをるものゝ如くで

で軍事行動を採る意志なく出來る丈け之が廻避に努めて來たと

中立地帶の設置 中立國提案

【ペノス一日發】南米中立國外交團はボ、パ兩國の交戰狀態に入れるに鑑み中立地帶設置の要を認め兩國政府當局と折衝中であると

パラグワヤ國 聯盟へ抗議

【ゼネバ一日發】聯盟事務總長はパラグワヤ共和國外務大臣より

ボリビア國が聯盟規約に反し何等の豫告もなくトレード及びポケーロンの二要塞を占領されバ國は不法なボ國に對し不名譽極まる戰爭を開始せねばならぬ仕儀に立至つたと

旨の陳情電報に接した

賠償金不拂

支那、對日報復を講ず

【南京一日發】南京政府は滿洲國の關稅管理權奪取に對する報復手段として滿洲よりの貨物に更めて關稅を賦課することに決定

尙、かねて日本政府から要求してある匪賊による損害賠償は當分支拂はぬ決心であると

石油界に 露國再び躍進

【伯林一日發】新聞紙の傳ふる所に依れば昨今世界の石油產出狀態は幾分の變更を來し今年度は約二六%の激減を示してゐるが、斯ある際ロシヤは却つて二一・二%の增加を見、漸次戰線に大軍隊を集中し浦塩に海軍の主力を集めてゐるが、ソビエット政府の言ふ所に依れば斯ある戰鬪準備は日本の滿洲政策に對抗する爲で、滿洲が殆んど日本の勢力によつて動きつゝあ

の位置を回復せんとする形勢に在る、現在の順位は左のごとくである

第一　北米合衆國　二七、四〇〇千噸
第二　ロシヤ　三、三〇〇千噸
第三　ベネヅエラ　二、六〇〇千噸

世界經濟會議 ボーラー提案

【華府二十六日發】ボーラー上院議員は政府に對し華府に世界經濟會議開催の準備をすべしと建議せるが、右會議の主題は目下世界財界の二大がん・腫と云はれてゐる賠償金並に戰債處分に關するもので、尙、氏は軍縮に關しては現有勢力の五割減を主張してをると

ソビエット政府 戰鬪準備を整ふ

黑龍江に兵力集中

【倫敦一日發】浦塩來電に依れば、ソビエット政府は黑龍江沿岸に不可能であると

ドは英貨排斥の第一着手として石炭の輸入を禁じイングランド炭の代りにルールより輸入することゝし今週第一回分三万噸が到着することになつてゐるが、今後は毎週五万噸宛を輸入して完全に英炭不買同盟の目的を貫徹する筈

愛蘭の 英貨排斥

【ダブリン一日發】アイルラン

イラック國 聯盟に加入か

【ゼネバ三十一日發】英外務省は聯盟事務總長に對しイラック國を加盟させるやう慫慂する所があつたが英外務省の說明によれば、イ國は聯盟に即時加入して來總會に是非發言權を得たい希望を有してをると

ブラジル珈琲を 競賣

市俄古で

【紐育二十六日發】市俄古通信に依れば農商委員會內穀物調節會では去れて小麥と交換したブラジル珈琲の競賣を九月一日より開始することになつた、入札希望者は俵に付一弗の保證金を前納することになつてゐると

聖市
タベチンゲーラ禹十番
電話　二一　四二七九
御仮炊女中さん並に仲居さん至急入用

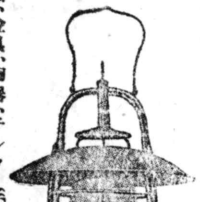
ほねつぎ
尙武館
柔道指南　富川富與
R. Dr. Cochrane, 199 Santos
(野菜果實委託販賣)
サントス市メルカード一番

Photographia Allemã
"BERNARDO"
ARTHUR SCHMIDT
R. S. Caetano, 111 (antigo 103) S. Paulo
寫眞
技術優秀
現像　焼付
引伸　セピヤ着色
御撮影は當館で出張撮影並に額縁寫眞の複寫も致します
ベルナルド寫眞館
聖市サン・カエターノ街一一一

農產物委托販賣
輸出入商
西谷商店
リオ市
サンペドロ街二〇八
郵函……一一三四
電略NISHITANI

Ao Pequeno Lavrador
Rua do Butantan, 57-B - Pinheiros
SAO PAULO
優良野菜種子類
果樹苗木各種
品質——保證付
多少に不拘御用命に應ず
アオ・ペケーノ
ラブラドール
聖市ビネイロス
ブタンタン街七

Emporio das Sementes
JOSE' VIEIRA
Lad. Porto Geral, 8-A S. Paulo
野菜、草花、牧草種子並に果樹苗木各種
家禽各優良種雛並卵、養禽用品
農具肥料特價販賣
御入用の際は上記

GABRIEL GONÇALVES & CIA.
Rua General Carneiro, 35-53-55　Caixa Postal, 388　S. Paulo
農家諸彥


殺蟻器
ポルボ
(POLVO)
一立の本器は「フォルミシーダ」をよく五百倍の新瓦とし、新水を要せず、使用法簡便で子供でも殺ひ得る。州農務省の賞讚を蒙り州立植物園より御買上の榮を賜はる。製品「つてをります」陶器、インキ、金物類直輸入特に…英國製ペルデバリスで生物學研究所分析證明の優良品十キロ入一罐キロ當り四ミルでお需めに應じます
農具、金具、陶器、チンタ"Titus"印ランプ農具害虫驅除機、硫酸銅英國製ペルデバリス"Fenner"フォルミシーダ"Polvo"印殺蟻劑等御購入の節は先づ斯界の老舗たる弊店をお訪ね下さい。商品は總て保證付、價格低廉
特別藥劑一袋風爐入ペラバリス"Fenner"印
生物學研究所分析
十キロ入一罐1ミリ當り48000

ANZE MORIZI
アグア・リンパ農園
珈琲精撰所
アルマゼン部
安瀨商會
精米所、珈琲倉庫
事務所アラサツーバ市
電話五四　二　郵函二〇八

日本へ　日本より
ぶえのすあいれす丸(北米ナナ經由)
サントス發　九月十六日午後六時
リオ發　九月十八日正午
あふりか丸(アフリカ經由)
サントス發　省略
リオ發　八月十一日
はわい丸
リオ着　省略
サントス着
ぶえのすあいれす丸
リオ着　八月廿三日
サントス着　八月廿四日
詳細は下記代理店へ
サントス　HOULDER BROS & CO. (BRASIL) LTD Rua do Commercio, 35
聖市　THEODOR WILLE & CO. LTD. Largo do Ouvidor, 2
リオ　WILSON SONS & CO. LTD. Av. Rio Branco, 37
右代理店の外乘船切符御用手續等は指定仲介旅館が無料御取扱致します
大阪商船株式會社
サントス駐在員
Caixa Postal, 330 SANTOS

HOTEL SOL NASCENTE
Est. Cornelio Procopio
L. S. Paulo Panará -- Estado de Paraná
驛に一番近いし
清潔なお部屋と
美味なお食事で
御評判を頂いてゐる——
日の出旅館
北パラナ・コルネリオ・プロコピオ驛
氏原彥馬氏の北パラナ土地會社賣出及臼井介仁氏賣出しの土地御視察の際は充分の御便宜を御計り致します
尙アルマゼンも兼業して居りますから皆樣の御引立を願上げます
雜穀仲買
雜貨商
山口
渡邊
合資商會
本店　パンディランテス
支店　コルネリオ・プロコピオ

皮膚病には
ピシノール
總てカユミある皮膚病に偉効あり
最も經濟にして齒の衛生に苦心した
象印衛生ハミガキ粉
到る所の有名な日本人商店又はファルマシアにあり

Fabrica das Malas
Rua do Commercio, 43 Pinheiros S. Paulo
旅行用鞄、紳士向折鞄、夫人用バック、帶皮、鏈入。其他革具製品各種。製造卸小賣
聖市ビネイロス
コンメルシオ街四三
阿部商店

木村洋服店
聖市オンゼ・デア・ゴスト街五一—二階
電(呼出)二一二四一三

停車場の直ぐ前で御便利第一
ホテル・プログレッソ
澤尾榮七
パウル市…郵函六八…電話一三五

Casa Internacional
TONE & CIA.
Caixa, 1 Est. Ourinhos
L. Sorocobana
オウリニヨスでの買物は安くて確實な戸根商會で
農產物の賣込みは聖市直取引きの戸根商會へ
戸根商會
オウリニヨス町郵函一

聖市ソロカバナ驛前自動車一五一六と契約あり
御利用下さい
中央旅館
高橋はる
聖市アベニーダ・エステリオール九九番二階
(新市場前)

スポーツ

待つや、久し!!

オリンピック

興奮裡に開幕

憧れのオリンピックは去月三十日、歡喜と興奮のもとに朗かに幕は切つてをろされた、地元ロサンゼルスの興奮はとりわけ物凄く、全市を擧げてオリンピックの大行進だ、陸上競技場である、オリンピック・スタディアム眼も覺めるばかり青葉の大公園その中に十一万人を容れる大競技場がそびえてゐる槍投は西側、棒高跳は東側、何んと

……日本が……

世界に誇る走幅跳と三段跳の位置は貴賓席の眞正面、しかもトラックから僅二、三フイートの近く、ジャムパーの脚、筋肉の動きまで貴賓席からありありと見てとれる最高の位置である、正面入口の塔は八十フイートとの高塔の中央に日章旗が高々と翻るのである、左側が二等の國旗、右側が三等の國旗、そして塔の上に大會期間十六日間晝夜を別たずギリシアの昔にゆかりあるオリンピック・ファイヤーがたかれるのである、更に東側の水泳場は南北一万一千八を收容し得る両スタンド、五米、八米、十米の三つの飛込臺と共に完成しプールの純白のタイルが加州の太陽にキラ〳〵と光つてゐる、こゝから自動車で十五分、ボルドイン・ヒルに上ると世界選手二千人を收容するオリンピック村がある、村の廣さは半マイル平方、岡の上からはロサンゼルスの全市、ホリウヅドの各映畫スタディオを一眼に見下ろし、後方を振り返れば太平洋の白浪が見え、麓にはゴルフリンクと全く景勝の地である

◇ ◇

來る十日大『スタ・ゲアーム』で各國の『マスゲーム』を擧行する事にオリンピック組織委員會で決定した、目下各國とも其の機轉國披を示すべく大宣の準備中、日本は在留邦人中の柔道、劍道家三百名を集め柔道及劍道の野試合をする事に決し着々と準備中である

◇ ◇

オリンピック水泳の覇權は日、米何れかと見られてゐるが、米女子水泳選手の正コーチ『ハンドレー』は左の如く語る

米國女子水泳界は今年程粒揃ひの事はないが、日本の二百米平泳選手前畑秀子嬢は實に強敵で警戒してゐると

又槍投げの住吉嬢頗る好調で六十八米四十の好記録を出してゐる

サンパウロ陸競 豫選

護憲運動の終結次第擧行されるサンパウロ青年會主催第二回全伯國在留邦人陸上競技大會に出場する地元サンパウロ軍の選手を決定すべき豫選會は去る三十

閉會した、其他の記録は▽二百米(廿五秒四)横溝▽四百米(一分一秒)細川▽五千米(廿一分十八秒)押本▽走高跳(一米四五)鈴木威、石丸▽棒高跳(一米九〇)鈴木厚、細川▽三段跳(十一米二五)平野▽四百米繼走(五十一秒)模本、平野、鈴木威、横溝

で餘り芳しからず、八百米、千五百米、一萬米、圓盤投其他は選手の都合で之を擧行せず延期した、尙本豫選會閉會後前年同樣サンパウロから出場する豫定であつた吉田光雄君から本年度不出場の申出であり、コチヤとの間に板挟みとなつた同君の立場を諒としサンパウロ青年會でもその意思を尊重する事となつたが、同君の不出場は各方面から惜しまれてゐる

デウィス盃 フランスへ

【巴里三十一日發】本年度デヴイス盃爭奪戰は本日を以て終了、グブルに於ける米佛の劇戰は全世界のファンの血を沸かせたがフランス側は最初よりアメリカ側をリードし、三對二で優勝月桂冠は再びフランス選手の頭上に輝いた、これを以てフランスは引續き七回世界選手權を有つことになる

一日午后二時からヴィラマリアシナ運動場に於て擧行された勞頭百米豫選に輕快な根本組風を利して十一秒七の好記録を示し、横溝また決勝に於てスパイク無しの十一秒八を出して大いに氣を上げ、根本の走巾飛六米一〇、平野の槍投四十三米四〇等相當の收穫を得て午后五時半

全伯國 邦人陸競大會

今次國際運動の渦中に巻きこまれて延期の餘儀なきに至つた全伯陸競大會も、他方オリムピック大會の開期に刺戟されて擧行期日確定の一刻も早きを希ふものの多く、依然人氣を彌が上にも高めつゝある、主催者たるサンパウロ青年會では既に滯りなく準備を終え、名譽總裁内山岩太郎氏、審判長川西豊藏氏の快諾を受け、護憲運動終結直後運動場の都合を問合せて擧行期日を決定するまでになつてゐる、既にエメボイ、モヂ・グス・クルーゼス、ソロカバナ線の一部より正式の出場申込に接し、擧宣

野球リーグ戰

サンパウロ野球リーグの各局に鑑み當分延期する事になつた、尙來る十月廿三、廿四兩日擧行豫定の全伯屬優勝野球大會は廿二、廿三兩日と一日繰上げられるやも知れぬので護憲運動終結後のリーグ戰は強力的に擧行大會前に終了させる筈と

第一回戰は時

リーグの各

明會

百餘

丸林久次郎

三十餘宛

一木文平、小齋宗雄、志波久吾郎

十餘宛

飯島猪之作、大工原虎雄、橋本重太、土師國松、丸林豊次郎、宮原友衛、丸林繁太、張木寅一

三餘

小山一郎

計二百八十一餘也

大島仁太郎

五十餘宛

エメボイ海與農擧實習場内

三十餘宛

松本圭一

黒本富雄、三谷正幸

二十餘宛

東祐吉、小畑末藏

十餘宛

土橋喜代壽、深川食吉

八餘宛

計二百十餘也

ソロカバナ線サント・アナスタシオ驛正和植民地在住者

二十餘宛

西支雄

瀬戸口省吾、池田正苗

八餘宛

加治屋清

山崎清二、大原正治

十餘宛

丹俊男、山崎茂心、宮路國俊

富田正彦、福永清、鷲一二、

古庄優、木村又四郎、本田、

田中朴、竹田森治郎

計百十三餘也

サンパウロ市郊外サン・ベルナルド町在住者

五十餘宛

田中勝、高城清一

計一十五餘也

セントラル線モヂ・グス・クルゼス驛在住者

九十餘宛

石川清二、全政一、磐一、全勝三、全智、全智枝子、全鮮香

サンパウロ市郊外サン・ベルナルド町在住者

二十餘宛

村井市左工門、奥村末磨

十餘宛

蠟山平太郎、原田義男

五餘宛

沖田定美

三十餘宛

中井繁次郎、水口止吉、小川長松

廿五餘宛

大西喜三郎

二十餘宛

村峯吉、坂井保芳、濱野彦一、西羅一、前田孫三郎、小野敏松、中井重太郎、佐々木雄二、永山捨吉、橋本重太郎、沖和夫、城森厚、奥山庄市、菊池弘榮

十五餘宛

松坂多次郎、宮下吉藏

十餘宛

岩瀬春吉、釜本正克、宮口勢本清松、中井鹿藏、桑本武平、川奥村兵衛、谷菊太郎、松元龍武圓一、太田光之助、吳原治太郎、沖田一美、安達屋富牛、田野中愛次郎

五餘宛

山本鶴太郎、脇坂彦弍

計八百四十五餘也

ソロカバナ線バラグアッス驛昭吾郎

木寅一

丸林久次郎

百餘宛

小山一郎

大島仁太郎

計二百八十一餘也

ソロカバナ線サント・アナスタシオ驛正和植民地在住者

二十餘宛

西支雄

瀬戸口省吾、池田正苗

八餘宛

加治屋清

山崎清二、大原正治

十餘宛

丹俊男、山崎茂心、宮路國俊

富田正彦、福永清、鷲一二、

古庄優、木村又四郎、本田、

田中朴、竹田森治郎

計百十三餘也

サンパウロ市郊外サン・ベルナルド町在住者

五十餘宛

田中勝、高城清一

計一十五餘也

セントラル線モヂ・グス・クルゼス驛在住者

九十餘宛

石川清二、全政一、磐一、全勝三、全智、全智枝子、全鮮香

サンパウロ市郊外サン・ベルナルド町在住者

二十餘宛

村井市左工門、奥村末磨

十餘宛

蠟山平太郎、原田義男

五餘宛

沖田定美

三十餘宛

中井繁次郎、水口止吉、小川長松

廿五餘宛

大西喜三郎

二十餘宛

村峯吉、坂井保芳、濱野彦一、西羅一、前田孫三郎、小野敏松、中井重太郎、佐々木雄二、永山捨吉、橋本重太郎、沖和夫、城森厚、奥山庄市、菊池弘榮

十五餘宛

松坂多次郎、宮下吉藏

十餘宛

岩瀬春吉、釜本正克、宮口勢本清松、中井鹿藏、桑本武平、川奥村兵衛、谷菊太郎、松元龍武圓一、太田光之助、吳原治太郎、沖田一美、安達屋富牛、田野中愛次郎

五餘宛

山本鶴太郎、脇坂彦弍

計八百四十五餘也

ソロカバナ線バラグアッス驛昭吾郎

木寅一

丸林久次郎

百餘宛

小山一郎

大島仁太郎

計二百八十一餘也

ソロカバナ線サント・アナスタシオ驛正和植民地在住者

二十餘宛

西支雄

瀬戸口省吾、池田正苗

八餘宛

加治屋清

山崎清二、大原正治

十餘宛

丹俊男、山崎茂心、宮路國俊

富田正彦、福永清、鷲一二、

古庄優、木村又四郎、本田、

田中朴、竹田森治郎

計百十三餘也

サンパウロ市郊外サン・ベルナルド町在住者

五十餘宛

田中勝、高城清一

計一十五餘也

セントラル線モヂ・グス・クルゼス驛在住者

九十餘宛

石川清二、全政一、磐一、全勝三、全智、全智枝子、全鮮香

サンパウロ市郊外サン・ベルナルド町在住者

二十餘宛

村井市左工門、奥村末磨

十餘宛

蠟山平太郎、原田義男

モヂアナ線サン・ジョゼ驛ピラシナ在住者

五餘宛

村上雄一、宮本武一、村岡和太郎、船田万平、船田三郎、安達秀雄

計三十餘也

アラタ市在住者

ジュケリー青年會

五餘宛

浅見仲作、土屋滿治、竹廣龜一、及川幸雄、山本重三、平尾七五三吉、横倉倉吉、鎧谷惣榮、山田康重、上納利三郎

四餘宛

サン・ロウレンソ區

四餘宛

迫敦治、坂口春治、川本鶴市川端嘉一郎、山本龜治、梅丸茂、秋山實藏、吉田壽助、森口三五郎、加藤要吉、森本重信、瀧口拾松、廣本與一郎、中村六郎、渡邊朝衛、川本次郎、高野利雄

ポア・ヴイスタ區

四餘宛

鈴木經世、吉田榮次郎、志村喜藏、水木本十郎、岩本辰次長田政生、丹治弘司、二階堂恒藏

サン・ジョアキン區

二餘宛

山代進、堅尾鋏太郎、沖村勇立石一兵

モーロ・ヴルメリヨ區

五餘宛

松岡力三郎、佐々木文七

二餘宛

佐藤省三、仝金作、仝松三郎三上清、橋本重吉

岡崎利雄

阿部久

十五餘

十七餘

計二百餘也

ミナス州オエステ・デ・ミナス線バヴイーラ驛附近在住者

十餘宛

森分健一、米村幸一、水野繁登、桑山作次郎、中川安平、富本二三男、齋藤正勝、松山時次、松永金次郎、福吉順一山本義時、岩本長利、岡川義信、飯田高、長谷川松左衛門

小川晋藏

九餘宛

川野勇吉、北野伊三郎、山本善平、小松久作、濱村豊吉、山本せい

計百九十餘也

リベロン・プレート市在住者

二十餘宛

無名氏、無名氏

モヂアナ線ベドロ・グリヨ驛バクアス耕地在住者

十餘宛

Pearo Guizelma、中田寅吉

五餘宛

中田國廣、上原群龜

二餘宛

小池清一、繁元作吾、小池陽治、丸山若男、池田若一、柚木茂作、戸羽久吉、長岡武助藤原喜太郎、嘉久志正儀、若井喜正、岩城虎次郎、酒井繁男

計五十六餘也

モヂアナ線ベドリグリヨ驛サンク・マリア耕地在住者

十餘

玄嶺益彦

バウリスタ線ララ・ロシヤ驛在住者

十餘

曾我眞一

二餘宛

モヂアナ線フランシスコ・マクシミアノ驛サン・セバスチヨン耕地在住者

十餘

中島弓一

二餘宛

永井源七、吉岡完、藤坂松太郎

直樂、又吉武榮

一餘宛

瀧鐵次郎

二餘宛

小島光晴、佐藤三吉、小松實

一餘宛

計二百六拾五餘也

モヂアナ線カナーン驛カナーン耕地在住者サンタオリンピヤ區

四餘宛

浅見仲作、土屋滿治、竹廣龜一、及川幸雄、山本重三、平尾七五三吉、横倉倉吉、鎧谷惣榮、山田康重、上納利三郎

サン・ロウレンソ區

四餘宛

迫敦治、坂口春治、川本鶴市川端嘉一郎、山本龜治、梅丸茂、秋山實藏、吉田壽助、森口三五郎、加藤要吉、森本重信、瀧口拾松、廣本與一郎、中村六郎、渡邊朝衛、川本次郎、高野利雄

ポア・ヴイスタ區

四餘宛

鈴木經世、吉田榮次郎、志村喜藏、水木本十郎、岩本辰次長田政生、丹治弘司、二階堂恒藏

サン・ジョアキン區

二餘宛

山代進、堅尾鋏太郎、沖村勇立石一兵

モーロ・ヴルメリヨ區

五餘宛

松岡力三郎、佐々木文七

二餘宛

佐藤省三、仝金作、仝松三郎三上清、橋本重吉

岡崎利雄

阿部久

十五餘

十七餘

計二百餘也

ミナス州オエステ・デ・ミナス線バヴイーラ驛附近在住者

十餘宛

森分健一、米村幸一、水野繁登、桑山作次郎、中川安平、富本二三男、齋藤正勝、松山時次、松永金次郎、福吉順一山本義時、岩本長利、岡川義信、飯田高、長谷川松左衛門

小川晋藏

九餘宛

川野勇吉、北野伊三郎、山本善平、小松久作、濱村豊吉、山本せい

計百九十餘也

リベロン・プレート市在住者

二十餘宛

無名氏、無名氏

モヂアナ線ベドロ・グリヨ驛バクアス耕地在住者

十餘宛

Pearo Guizelma、中田寅吉

五餘宛

中田國廣、上原群龜

二餘宛

小池清一、繁元作吾、小池陽治、丸山若男、池田若一、柚木茂作、戸羽久吉、長岡武助藤原喜太郎、嘉久志正儀、若井喜正、岩城虎次郎、酒井繁男

計五十六餘也

モヂアナ線ベドリグリヨ驛サンク・マリア耕地在住者

十餘

玄嶺益彦

バウリスタ線ララ・ロシヤ驛在住者

十餘

曾我眞一

二餘宛

モヂアナ線フランシスコ・マクシミアノ驛サン・セバスチヨン耕地在住者

十餘

中島弓一

二餘宛

永井源七、吉岡完、藤坂松太郎

一餘宛

西森政雄、荒井正治、別所國吉、宮庄金作、栗本千代人

計二十一餘也

モヂアナ線セラーナ驛サンク・マリアーナ在住者

井上義太郎

五餘宛

二餘宛

原茂、荒谷乙吉、大久保長德

計十一餘也

ドラデンセ線クバチンガ驛在住者

十五餘

瀧内秀吉

ノロエステ線プロミツソン驛バルソン植民地在住者

篠原龍五郎

十餘宛

五餘宛

藤井與七郎、末石紋太、柳原勳

三餘宛

篠原茂吉、無名氏、無名氏

二餘宛

Manoel Caitano、先山万壽衛

二ノ宮松太郎、古澤龜子

五百レース

João Marssano

計四十二餘五百レ也

五百餘

ノロエステ線平野植民地日本人會

リベロン・プレート在住者

中島勘五郎

二十五餘

モヂアナ線インダイア驛ボア・ヴイスタ耕地在住者

五餘

合計 四コントス六百五十九餘

一百レース也

累計 四十二コントス三百二十四餘八百レース也

昭和七年七月十五日

在サンパウロ婦人水曜會

クスリは 日本藥局
クバチンガーラ街二番
電話 二一六七四五

西田旅館
コンデ街二十一番
(中矢商店三軒目)

時計修繕 佐古田
聖市 コンセレーロ フルクード街六

Relojoaria do Carmo
R. Liberdade, 64 - S Paulo
確實が當店の主義
迅速、丁寧、安價

Dentista
BIRIGUY
Villa Nipolandia
當科醫
伊藤達馬
ビリグイ
ヴラ・ニポランディア

Dr. H. SAITO
MEDICO
Rua da Inconfidencia, 6-35
醫學士
齋藤等
サウロ市…電話 六二一

Dr. M. KONDA
MEDICO E OPERADOR
Rua Luiz Gama. 58
醫學士 今田
電話—一四三
リンス市 ルキスガマ街天
◈X光線診斷
◈紫外線治療
(診療時間午前九時より午後五時迄)

公認建築淵源技師
原田政平
Av. São João, 85-A
2º. and. sala, 13-14
Tel. 4-1724
S. Paulo

Dr. OMURA
R. Conde do Pinhal, 15
São Paulo
北米式投藥治療
北米式藥治療法醫
大村熊之允
ドクトル バウリノ・フイリヨ
(慢性胃腸病、不消化、月經不順、淋病、梅毒、性病、其他一切、マッサージ、電氣療法、紫外線療法、ヂヤテルミー科、太陽光線科)

PHARMACIA IRIS
Rua 11 de Agosto, 72 - Telephone, 2-4092 - S. Paulo
一流醫家より定評ある
イリス藥局
檢定藥劑士
山田一雄
(渡邊銃器店向ひ)

汎ノロエステ 陸競大會展望

ビリグ井生

多大の興味を以て待望さるゝ汎ノロエステ陸上競技大會を目睫の間に控へたる昨日今日、沿線各チーム共此農繁期を物かは血の出る樣な合宿猛練習に精進しつゝある清淨さよ、奥地農村の悲しさ各チーム共選手の移動も相當多かるべく各主將の陣容整備の苦心の程も思ひやられる中にも毎年怨嗟として彗星の如く現し數興チームの花形として全線を震撼せしめ多大の驚異を以て迎られ一躍第二位を捷ち得たビリグキチームも遺憾の至實林を失つて以來トラックを生命とする丈其傷痍癒ゆべくもあらず、主將千田の苦衷や轉た同情に値する

ホームグランドとして植民者の期待を背負つて起つ彼亦趣味より生ずるスポーツの實際討究家として自ら陣頭に立つ程に其各殿に精通すること近郊恐らく彼の右に出ずるものなく、故に其コーチや振りの嚴正に俊烈と言はんか一歩たりとも假借する處なく所謂勝たんが爲のスポーツでなく寧ろ精神修養に重きを置す所彼の面目躍如たるものがある

過ぐるアリアンサに於けるスタートに惱まされた苦き經驗に鑑み特に其正確を期すべく努力する好漢千田が果して毎年の實力を把握し得るか、亦は王座に向ふて邁進し得るかは一に掛つて植民者の理解と新選選手の練成に俟ねばならない、果して錬磨と强豪を以て鳴るブラ軍カ軍を向ふに廻して榮冠を克ち得る神算鬼謀ありや

茲に陸の王者として全ノロエステを風靡し其名を壇にしたブラ軍(ブラミツソン聯盟)恨みは深しこそ去年の惨敗に幻滅の悲哀を感じ意氣消沈するが如き主將杉野でない、あの底力ある反撥心を以て會稽の雪辱に燃へ今や大宣べの猛練習に全軍を指揮して居ると聞く、果して彼があの洗練味クツブリの老功チームを率いて更如一新乾坤一擲の離れ業を演ずる迄想像に難くない、彼亦得意とするトラックに主力を傾注せんかも到底ビ軍との大接戰は免れざるべく龍攘虎搏の一騎打の場面展開さるゝ其際に乘じ覇氣滿々たるカ軍(カフエーランヂヤ青年團)が一擧に萬能選手牧野を始めとし横いて野田宮田、小笠原等一騎當千の强者を左右に從へ驍將平岡が充實せる敵の擯手フキルド陣へ突入せんとの場面に血を躍らす事であらう

全ノロエステの古參元老として任ずる汎リンス、沈滯久しく奮はざりしが、今や復活の機運燃へ眉を修め鳴を靜めて背水の陣をしき虎視眈々として王座を凝視する凄じさよ、亦聖市驛の木村に新進の池田を加へ重富、木下等の猛者連大刀尖揃へて復活の意氣高らかに捲土重來一氣苛性に牙城を屠らんとす

フルクール亦主將謀將木下ありフキルド陣の後援に乘じ覇氣滿々たるカ軍(カフエーランヂヤ青年團)が一擧に萬能選手牧野を始めとし横いて野田宮田、小笠原等一騎當千の强者を左右に從へ驍將平岡が充實せる

ることの陣容を以て尤も得意とする場面に血を躍らす事であらう

全ノロエステの古參元老として任ずる汎リンス、沈滯久しく奮はざりしが、今や復活の機運燃へ眉を修め鳴を靜めて背水の陣をしき虎視眈々として王座を凝視する凄じさよ、亦聖市驛の木村に新進の池田を加へ重富、木下等の猛者連大刀尖揃へて復活の意氣高らかに捲土重來一氣苛性に牙城を屠らんとす

フルクール亦主將謀將木下ありフキルド陣に力軍と雄雄を決せんとし、加ふるに新興チームとしてバウルー、ペンナポリス、アバニヤニアグーバ、中央ビリグキあり、如何なる戰陣を襲つて雄飛するかは俄かに豫想を許さず、今や回を重ねること五回新くスポーツ熱に油の乘つたる群雄割據時代C軍果して這回の榮譽を奪はんとし奮戰するか、P軍亦無念骨髓に徹し死を屠して雪辱戰陣を張るべく、B軍それ餓鬼の如く以て其背後を衝かんかの如く三巴の爭覇戰を演ずべく其混戰狀態は洗練味クツブリの老功チームを率いて更如一新乾坤一擲の離れ業を演ずる迄想像に難くない、彼亦得意とするトラックに主力を傾注せんかも到底ビ軍との大接戰は免れざるべく龍攘虎搏の一騎打の場面展開さるゝ其際に乘じ覇氣滿々たるカ軍(カフエーランヂヤ青年團)が一擧に萬能選手牧野を始めとし横いて野田宮田、小笠原等一騎當千の强者を左右に從へ驍將平岡が充實せ

援けて新陣容を整へ鎧袖一觸フキルドにカ軍と雄雄を決せんとし、加ふるに新興チームとしてバウルー、ペンナポリス、アバニヤニアグーバ、中央ビリグキあり、如何なる戰陣を襲つて雄飛するかは俄かに豫想を許さず、今や回を重ねること五回新くスポーツ熱に油の乘つたる群雄割據時代C軍果して這回の榮譽を奪はんとし奮戰するか、P軍亦無念骨髓に徹し死を屠して雪辱戰陣を張るべく、B軍それ餓鬼の如く以て其背後を衝かんかの如く三巴の爭覇戰を演ずべく其混戰狀態は洗練味クツブリの老功チームを率いて更如一新乾坤一擲の離れ業を演ずる迄想像に難くない、彼亦得意とするトラックに主力を傾注せんかも到底ビ軍との大接戰は免れざるべく龍攘虎搏の一騎打の場面展開さるゝ其際に乘じ覇氣滿々たるカ軍(カフエーランヂヤ青年團)が一擧に萬能選手牧野を始めとし横いて野田宮田、小笠原等一騎當千の强者を左右に從へ驍將平岡が充實せ

河本を先陣に土屋兄弟能くと之を其日よ

BICHO DE SEDA

ブラジル農村改良資料

養蠶の話

バストス　高柳武七郎

飼育時期—飼育法の種類—飼育法の準備—蠶兒の飼育—上蔟及び繭—収繭及び繭の區別

筆者は北海道帝大農學部出身の農學士で卒業後も母校に在つて養蠶專門に研究を積んだ人。在伯同胞が此人の筆によつて必ずや多くの稗益さるべきものあるを信じて疑はない　—記者—

—(上)—

昨今養蠶に關する話題が大部多くなつてきたやうですが誠に結構なことであると思ひます、當國の現況として過去の如く珈琲に唯一の望を掛けて進むことは吾々農業者にとつて賢明なる策では無いでせう。そこで、日本人は日本人特有の技能を次第に發揮して將來を保證して行くのも必要なことでありませう、私は日伯紙を藉りて、これから養蠶に志す初心の方々に、一体養蠶とはどんなものか、と云ふ概念を御知らせする心算で極く一般的に養蠶の御話をして御參考に供し度いと存します。

養蠶とは讀んで字の如くかひとを養つて繭を營ませる行程を指すのであります、先づ蠶兒の飼育時期から始めませう。

一、飼育時期

飼育時期は大体九月より翌年五月まで、とれを春蠶（九月より十一月までの間に飼育するもの）夏蠶（十二月より二月までの間に飼育するもの）及び秋蠶（三月以後に飼育するもの）に區別す、蠶兒飼育に最適の溫度及び濕度は華氏七十三度前後、及び七十％であるから理想から云へばこの最適の溫濕度に最も近い時期を選べば最も安全に養蠶の目的を達する譯である。

二、飼育法の種類

蠶兒飼育の方法は多岐に分れ取扱手續も多少の差あれども要は蠶兒の生命を基礎とし之に經濟關係を按配せるものなり。

當國に於ては日本の如く未だ集約的に完全なる蠶室を建て、保溫する者あるを聞かず、從つて凡て天然溫度にて飼育する所謂天然育なり。

給桑の形式に依りさ・桑育、さ・芽育、桑芽育及び條桑育等に區別す。

今之を少しく説明せんに、

（イ）剪桑育とは三齡又は四齡迄桑葉を剪みて蠶兒に給與し、四齡又は五齡に成全芽又は全葉を給與す、從來廣く行はれたる方法にて普通育とも唱へらる。

（ロ）剪芽育とは芽桑をきざみて稚蠶に給與する方法にして半全芽育とも稱せらる。

（ハ）全芽育とは稚蠶、壯蠶を通じて剪切することなく芽桑の儘にて給與する方法なり。

（ニ）條桑育とは壯蠶を條桑に飼育するものにして枝條、棒條、棚條棚椿がひ安樂がひ又は放り蠶卵が孵化に近づくに隨ひ肯味を帝ふる故此の名あり。條育溫度の調節に當り華氏五十五、六度より漸次昇溫して七十四、五度に至らしめて孵化するを漸進法と云ひ、條育着手當初より七十一、二度の一定溫度を保たしむるを平進法と云ふ、又二化性不越年卵（生種）を得る爲に條育中の一定期間低溫（華氏六十二、三度）にて條育するを低溫條育又は究理法と云ふ、之に反して二化性を目的に依り特に一化に止むる爲に行ふ條育を高溫條育と云ふ、此際乾燥狀態に於ては二化し易く、多濕の狀態に於ては一化に止り易し、條育日數は品種に依り異るものなれど七十一、二度平均にては十三四日を要し、八十度平均にては十日を要すべし。

現在ブラジルに於てはとの條育なるものが完全に行はれざるやうなれど將來養蠶が益々發展して蠶作を安定にする爲には必要欠くべからざるものなり。

【一】蠶室蠶具

（イ）蠶室に使用する蠶室と居宅兼用蠶室とあり。

（ロ）蠶具の主なるものは次の如し、

蠶架—蠶箔を挿入する棚なり

條桑育には特殊のし育臺を造る

蠶箔—蠶兒を收容する容器にして蠶簿、木框箱、藁座等を總稱し、円形方形のものあり

蠶座紙—（昔は主として蠶莚と云ひ藁製のものを用ひたりしが現今は殆ど用ひられず）蠶兒を收容する座席に用ふる紙にして、ブラジルにては新聞紙を多く用ふ。

蠶網—主として除沙に使用するものにて原料に依り糸網、ガマ網等あり。

【二】條育

條育とは蠶兒の孵化を適當ならしむる爲孵化前約二週間溫濕度を調節して卵内胚子の良好なる發育を爲さしむべく蠶卵を保護することを云ふ、此操作に依り蠶卵が孵化に近づくに隨ひ肯味を帝ふる故此の名あり。條育溫度の調節に當り華氏五十五、六度より漸次昇溫して七十四、五度に至らしめて孵化するを漸進法と云ひ、條育着手當初より七十一、二度の一定溫度を保たしむるを平進法と云ふ、又二化性不越年卵（生種）を得る爲に條育中の一定期間低溫（華氏六十二、三度）にて條育するを低溫條育又は究理法と云ふ、之に反して二化性を目的に依り特に一化に止むる爲に行ふ條育を高溫條育と云ふ、此際乾燥狀態に於ては二化し易く、多濕の狀態に於ては一化に止り易し、條育日數は品種に依り異るものなれど七十一、二度平均にては十三四日を要し、八十度平均にては十日を要すべし。

現在ブラジルに於てはとの條育なるものが完全に行はれざるやうなれど將來養蠶が益々發展して蠶作を安定にする爲には必要欠くべからざるものなり。

ラプラタ丸サントス寄港秘話

H・G生

七月九日午后突如として烽火を擧げた今回の護憲運動は無論武力を以て解決せんと聖州側は進早く鐵道と國道との全方面より州境近く迄軍を進めたのである、云ふ迄もなく全軍總指揮には武名赫々たるイシドーロ將軍が采配を振つて居る、聖州護憲軍とかリオ政府軍とか稱へられて居る字句は一切拔きにして更らに兩軍隊の勝敗及び結局等に關する批評や觀測は吾輩外國人のノーボにはその資格もなければ分る道理も無論無い譯である、ラプラタ丸サントス寄港秘話が切り離す事の出來ない今回の動亂に重大な關係を持つ爲めにその冒頭辭として書いて見た迄である

筆者は所要を帶びて八日午后八時發リオ市行き列車に搭乘すべく三、四の友人に送られてノルテ驛の改札を受け第四號車十番寢室に納まつた迄は實に無難であり全時に簡單なる旅行氣分を味はつた今回の護憲運動は無論武力を以て解決せんと聖州側は進早く鐵道と國道との全方面より州境近く迄軍を進めたのである、云ふ迄もなく全軍總指揮には武名赫々たるイシドーロ將軍が采配を振つて居る、聖州護憲軍とかリオ政府軍とか稱へられて居る字句は一切拔きにして更らに兩軍隊の勝敗及び結局等に關する批評や觀測は吾輩外國人のノーボにはその資格もなければ分る道理も無論無い譯である、ラプラタ丸サントス寄港秘話が切り離す事の出來ない今回の動亂に重大な關係を持つ爲めにその冒頭辭として書いて見た迄である

筆者は所要を帶びて八日午后八時發リオ市行き列車に搭乘すべく三、四の友人に送られてノルテ驛の改札を受け第四號車十番寢室に納まつた迄は實に無難であり全時に簡單なる旅行氣分を味はつた今回の護憲運動は無論武力を以て解決せんと聖州側は進早く鐵道と國道との全方面より州境近く迄軍を進めたのである、云ふ迄もなく全軍總指揮には武名赫々たるイシドーロ將軍が采配を振つて居る、聖州護憲軍とかリオ政府軍とか稱へられて居る字句は一切拔きにして更らに兩軍隊の勝敗及び結局等に關する批評や觀測は吾輩外國人のノーボにはその資格もなければ分る道理も無論無い譯である、ラプラタ丸サントス寄港秘話が切り離す事の出來ない今回の動亂に重大な關係を持つ爲めにその冒頭辭として書いて見た迄である

定時驛長の合圖と共に列車は徐々にノルテ驛を出發したその刹那よりとの秘話を書く可き動機が生じつゝある事を知るや知らずや列車の動搖に委せて結ばれる夢路を辿りつゝ聖九日朝八時ドン・ペードロ驛に着車Sahidade と掲示されてゐる扉口も無事通過朝霧に包まれてゐる驛頭に車を呼んでアベニーダ・リオ・ブランコ街へと急いだ、所要の一端を濟ませて午后迄の休憩をホテルの一室に横たへる間もなく、給仕が一枚の號外を手にして聖州軍が火蓋を切つた事を矢繼早やに喋りつゝその一枚を渡して云つた、紙面は初號、一、二號活字で急を告げて居るのである九日の午后發列車にてリオ市を出發す可く豫定して居た筆者は直ちにドン・ペードロ驛に電話して列車の發着狀態を尋ねて見ると、サンパウロ行きの列車は午前七時發以降は全部不通との回答……困惑、當惑、日常極めて鈍感な神經の持ち主である筆者の腦漿も凡ての方面へと働きかけた、無論サンパウロ行きも如何にすべきかについて

—つゞく—

ブラジルの陸軍と州警兵

【上】——帆影

羊だと思はれてゐたサンパウロが蹶起した、憲政即時復歸を叫び、ブラジルを横暴者の手から解放せる、と云ふ大義を唱へて、七百万の州民は老いたるも若きも、男も女も、あらゆる階級の者が一團となつて、火のやうに鬪心は燃え立つてゐる、クリンゲル少將は、「法に捧げて稍を走れる劍は燈く」と云つてゐる、時節柄ブラジルの陸軍と州警兵（警軍と云つた方が當つてゐるかも知れない）について大体の觀念を有して置いてもいゝかも知れない、獨裁政府側が十八万の兵がサンパウロ征討に向つたなんてラヂオで脅かしたつて、何さいゝ加減な出鱈目だといふことが判るから——

一、軍の編成と年齢

現行の伯國陸軍の編成は第一線軍と第二線軍とに分ち、第一線軍は（イ）常備（又は現役軍）と（ロ）第一線豫備とに分けてゐる常備軍は警謀部と、戰鬪部隊との五科部隊と衛生經理等の諸補助特科部隊からなり、三十七歳以上四十四歳迄の男子は第二線軍の豫備となつてゐる、戰時になると十七歳以上二十一歳以下の者及四十四歳以下で其の時の事情に應じて定められる年齢以下の者は總てその体格に從つて第一線軍又は第二線軍に召集編入される

二、軍管區と師團

平時國内を八軍管區（レヂオン・ミリタル）と一衛戍地（シルクンスクリソン・ミリタル）とに分けてゐる、各軍管區の管轄地域と司令部所在地は左の如し

伯國の警備は極めて薄い、それでも消防隊、諸州で軍隊組織の下に編成してゐる警兵隊及消防隊は第一線軍の補助部隊である、第一線軍の豫備は戰鬪部隊兵科の豫備役に在る將校下士卒と、二十一歳以上三十歳以下の男子及二十一歳以下で軍事教育を受けて豫備員手帳を授與されてゐる者を以て構成する、第二線軍は第二豫備に在る將校下士卒と三十歳以上三十七歳以下の男子から成り、聯邦首府の警兵隊及消防隊、諸州で軍隊組織の下に編成してゐる警兵隊及消防隊は第一線軍の補助部隊である、第一線軍の豫備は戰鬪部隊兵科の豫備役に在る將校下士卒と、二十一歳以上三十歳以下の男子及二十一歳以下で軍事教育を受けて豫備員手帳を授與されてゐる者を以て構成する、第二線軍は第二豫備に在る將校下士卒と三十歳以上三十七歳以下の男子から成り、聯邦首府の警兵隊及消防隊は第一線軍の豫備となつてゐる、戰時になると十七歳以上二十一歳以下の者及四十四歳以下で其の時の事情に應じて定められる年齢以下の者は總てその体格に從つて第一線軍又は第二線軍に召集編入される

二、軍管區と師團

平時國内を八軍管區（レヂオン・ミリタル）と一衛戍地（シルクンスクリソン・ミリタル）とに分けてゐる、各軍管區の管轄地域と司令部所在地は左の如し

軍管區	管轄地域	司令部所在地
第一	聯邦首府	聯邦首府（リオ）
第二	エスピリトサント州	リオ州
第三	サンパウロ及ゴヤス州	サンパウロ
第四	リオグランデドスール州	ポルトアレグレ
第五	ミナス・ジライス州	ビライス・デ・フォラ
第六	バラナ及サンタ・カタリーナ州	クリチバ
第七	アラゴアス、セルジペ、パライバ州	サン・サルバドル
第八	グランデ・ド・ノルテ、セアラ、リオグランデ・ド・ノルテ州	レシイフエ
衛戍地	ペルナンブコ諸州	
第八	マラニオン・ピアウイ・アマゾナス諸州及アクレ聯邦直轄地	ベレン
第七	マトグロッソ州	カンポ・グランデ

伯國は國防上南部に最も重を置いてゐる、これはアルゼンチン其他諸國と境を接してゐるからである、侵略の危險の無い北州では、之を師團と譯すは間違である

同じ軍管區であつても各管内の駐屯部隊兵數等は夫々異つてゐるのである、例へば最南地の第三軍管區内は最も兵力が多く、全國總兵數の殆ど三分の一の員數を集中してゐる、之に反し最北地の第八軍管區はマラニオンピアウイ、パラー、アマゾナスの諸州及アークレ聯邦直轄地と云ふ尨大な地域を管轄して居りながら、駐屯部隊は獵兵（カツサドール）四個大隊を數ふるに過ぎない、又マトグロッソ州はまた軍管區とは云はれず衛戍地であるが、獵兵三個大隊、獨立騎兵二個聯隊、混成砲兵一個聯隊、工兵一個大隊、混成航空小隊等から成る混成旅團を有し、尙はコインブラには要塞砲兵が在ると云ふ具合である、それはポリビヤやパラグアイと接し、河に依りアルゼンチンにも通じてゐるからである

かくの如く軍管區とは警備區域であつて、軍隊編成上の名稱ではないので、之を師團と譯すは間違である

◎募集◎

日伯俳壇

八月　木枯、大根
九月　春寒、挿木

選者　木村圭石

◇各題別紙、一人五句以内
締切は毎月十八日宛名は日伯社編輯部内俳句係

日伯歌壇

題　隨意　一人二十首以内
締切　毎月十八日

選者　岩波　菊治

法律相談

▲面會午前十一時—午後五時
▲法律相談無料　返信切手封入要

サンパウロ法科大學教授
辯護士　スペンサ・パンプレ

辯護士（東京帝大）牧義朝
法學士（東京帝大）

呼寄證明

御希望の方は（各線共）御申込に依り一切の手續（ポリシア聯邦勞働省、領事館共）完了の上呼寄證明書を送ります

法學士（東京帝大）牧義朝
辯護士

R. J. Bonifacio, 12, 2° Sobre-loja
Tel. 2-3476 Caixa, 1757 S. Paulo

Agencia Consular Internacional
Direc. Ennio Juvenal Alves
Ex-Chancellar do Consul de Portugal

▲御照會は Y. MAKI Caixa, 1757 S. Paulo 切手二百レース封入のこと
▲一件手數料（一切の費用とも）一百ミル也とす

ガイス・ガマ街四二
中須藥局
ノロ線リンス市
郵函——二〇三

御菓子
コンセリエイロ
西中菓子店
フルタード街五番

コンデ六一
とうふ
もりした

◎船舶用食糧品賣込業
大阪商船會社
國際汽船會社　郵用達
ヤマカ合資商會
小淵、前田合同經營
サントス港ゼネラル・カマラ街一三三　電話一四七

播種機並に農具一式
カタンツーバ市
製造所　中井工場
NAKAI & FILHO
Caixa Postal, 486
PHONE. 100
CATANDUVA

HOTEL SÃO PAULO
Rua General Osorio, 24
PHONE. 890
Ribeirão Preto
御旅館サンパウロ
館主　島崎岩吉
リベロン・プレード停車場迄二四
電話……三九〇番
お泊りの節は……お休み心地のよいとしてコミーダのおいしいので評判の

百發百中
そくざに治る
責任調劑
海老根藥店
マリリア町
郵函……E

辯譯と法律事務
辯護士　カルロス・デ・ウラニエ・アンドラーデ
辯護士　ジョアキン・シルヴ・ジュニオル
聖市ブレイタ街七番地三階三號室
杉山英雄
CAIXA, 2975

公證觀譯、產業組合各種會社、團體の設立登記定款の編成、團體法律事務に就ての通報、自動化申請、專賣特許等の手續、一般法規並に經濟事情調査等々

CLINICA DENTARIA
R. Conde Sarzedas, 9 - Tel, 2-3029
齒科醫院
村上眞一郎
丸スダーゼルサ・デ・ダンロ南部
電話二…三〇二九番

Y. KINJO
CIRURGIÃO DENTISTA
Av. Condessa São Joaquim, 26.
TELPHO, 7-3384 - S. PAULO
齒科醫
金城山戸
アベニーダ・コンデッサ・サンジョアキン二六

Missão Japoneza no Brasil
聖州義塾
寄宿舍、夜學校
獨語通信教授
主任　小林美登利
サンパウロ市ガルボンブエノ八十五

サンパウロ教會
日曜學校（午前八時半）
大人樂會（午後八時）
CAIXA, 2-2 S. PAULO

輸入品その他通關手續
珈琲其他輸出運送手續
通關手續取扱專門商
主任
小淵友市
Rua Commendador Martins, 142
Caixa, 637 - Telph. 292 SANTOS

CASA UEHARA
食料品及雜貨販賣
◆遠用御書籍◆
上原商店
六十コンデッサ・デ・ナヤセ・ボルタ
聖市ナヤセ　電話一八〇四

本社代理部が責任を以て御取次する
CHAUDOIR印
獨乙製噴霧器
スルファト・デ・コプレ
壹キロに付二ミル四百（但壹樽五拾キロ以上）
送料實費を申受けます
日伯社代理部
全リンス支局
但エコンメダンダ便送料實費を申受けます
一個（發送費共）百二十針也

大阪商船會社切符仲次
成功館
古謝將義
サントス市セナドル・フェイジョ街三二二
電話二〇〇八

呼寄手續
一件につき警察、領事館、日本への送料共二〇〇針（二人以上同一證明書にて行ふ場合は左記割增あり）
被呼寄人（十二才未滿　六針）（十二才以上　九針）
社團法人産業組合定款編成及び登錄、歸化申請、營業許可、等の手續
迅速、丁寧、御質問に應ず
公認辯譯人
聖市フロレンシオ・デ・アブレウ街六七
電話二—一〇七〇
（火、水、木、金曜日）
サントス市セナドル・フェイジョ街二二二
成功館内（土、日、月曜日）
綠川高廣

聖市コンセレーロ・フルタード街一六
業務代理　小田薫
（小川旅館内）
サントス市セナドル・フェイジョ街三二二
同　古謝將義

�照會送金其他は左記宛に願上候
J. T. Midorikawa Caixa Postal, 396

母國近信

すぐ飛ぶ首

一般官吏の身分保障

官吏の身分保障が近時喧しく問題となつて來た、現在我が國で身分保障を受けてゐる官吏は、武官を別として文官では判事、檢事、行政裁判所評定官、會計檢査官などであるが現代問題になつてゐるのは一般官吏に對する身分保障の問題で、殊に内閣が變る度び毎に大げさな人事移動が行はれ、地方官の大異動などで政黨與濕厚な浪人がどしどし復活するなど弊のもつとも甚だしい内務省系統の官吏に對して特にその必要が叫ばれてゐる、これら一般官吏の身分は文官任用令と文官分限令によつて律せられ、殊に奏官の場合は分限令第三條の規定によつて比較的その地位を保障されてゐるかの樣に見えるが、實際は休職規定といふのが同令第十一條に設けられしかもそのうちには「官廳事務ノ都合ニヨリ必要ナルトキ」はいづれも休職にすることが出來る、この事務上の都合に依りといふのが現在の官吏にとつては一番の苦手で同時に政黨にとつては頗る都合の良い規定で從來の地方官異動などで反對黨の臭味ありと睨まれた官吏は大抵此の規定に依てスツパリとやられたものだ、そこで現在の官吏の身分を保障し黨弊から救ふためにはこの休職規定を改廢するかまたこの濫用を防止する適當の方法を講ぜよといふのが現在各方面の一致した要望で此の方法としては目下の閣議大臣、樞密顧問官、行政裁判所長官、會計審査院長その他が文官の任免に關する審査委員會を設けたらどうかといふ說もあるがまだ具体的に決つた案が出來てゐない

日支事變の功勞警官に行賞

今回の日支事變に際し在滿警官の活動振りは實に勇しく軍人にも劣らぬものが澤山あつたが、警官に對しては國家的交渉がないので内閣、外相、拓相の三相が協議の結果此際特に内規を制定の上行賞される旨を首相に進言した、首相は直ちに高山秘書長に命じて先づ戰死警官の功績調査に着手せしめた、それによると戰死者は昨年十二月公主嶺で奮戰した荒木嘉雄氏を初め十四名あり、これ等は主として匪賊と戰ひ勇壯なる死を遂げたもので此の外戰傷者功勞警官は約四五〇名に上ると云はれてゐる生存者の行賞は明年に入る模樣であるが、戰死者には年内に賞勳局に調書を回付し速かに叙勳賜金の御沙汰を仰ぐ筈なりと

内地より朝鮮へもし〳〵

十月一日より直通電話

滿洲内地間電信電話の先驅として期待される朝鮮、内地間の電話通信は、現在下關—釜山間の海底電線同線を電話線に改造テストの結果非常に良好の成績なので、愈々釜山—下關間の公衆電話が十月一日より通話される事となり、京、阪、神其他主要都市より朝鮮にモシ〳〵と呼び掛け得ることになつた

賞勳局 新議定官

賞勳局議定官財部彪大將の後備役編入並に白川大將逝去の爲、二名の欠員を生じてゐた處去月十六日次の如く親補された

陸軍大將 武藤信義
海軍大將 加藤寛治
補議定官

窮迫せる母國の農村

青森縣（上）

半歲を雪に埋め盡される青森縣の農家が農村恐慌の重壓にもがき苦しみ出のはかなり早くからである。十年に一回はほとんど周期的に襲ふ寒地特有の凶作、殊に苦しかつた大正二年の大凶作の傷あとがいまだにいえないうちに矢繼ぎ早やにやつて來た幾多の災難、銀行の破綻農産物の大下落、更に今回の大凶作

これに拍車をかけて青森縣農家は民から全く生氣を奪ひ去つたものである。目下の縣下農家の總負債は積り積つて約七千万圓と見られ、一戸平均八百圓に達してゐる。

即ち昨年來の凶作によつて自作兼小作

	昭和三年	昭和六年
自作	二六	二四
自作兼小作	三七	三三
小作	三〇	二七

（單位千戸）

即ち農村に恐慌の大あらしが吹き捲くりつゝある最近三ケ年間に實に八千餘戸の激減を示すに至つたのである。尙自作若くは自作兼小作から純然たる小作に轉落するものが、一ケ年一千五百戸以上に達するといふ惨めさ

ねるか縣長會調査によると農家の經濟のうち現金支出によるものは總額の三割餘に過ぎない、あつかいたくとも現金は村中から奏を消してゐるのである。村既に數ケ月前に醫師のもとに赴きガーゼを詰めたが詰めたきり再び取替へに行く金がなくそのまゝ入れ放しにしてゐる、との答へを聞いて今更の如く農民の苦しい生活振りに驚いたといふ事實もある。

み一戸當り二百圓は負債を增加してゐるのである、農民が「なんぼ働いても、百姓ちやケエねえちやア」（百姓では喰へない）と祖先からの永住の地を捨てゝあてもなく離村する者が漸次多くなつてゐる事は縣長會調査の左記の表が如實に示してゐる（單位千戸）

昭和三年 昭和六年

自作 二六 二四
自作兼小作 三七 三三
小作 三〇 二七

が吹中の大半を占める水のみ百姓の一度づゝふろに入る習慣でもあるが大部分の百姓は幾人あるかもちろん一年三、四回の村の休日に、物持の家でたてるふろの捨て湯に

値かに浸つて三ケ月振り四ケ月振りのあかを落すといつた狀態であり病氣にかゝつた者で全快するまで醫師のもとに通ひ得る者は極めて少い先頃縣衛生課の無料診療班が縣下の農村を巡回した際傷口に古く汚れたガーゼが入れ放しになつてゐる人々を數人發見、事情を聞いたところ既に數ケ月前に醫師のもとに赴き再び取替へに行く金がなくそのまゝ入れ放しにしてゐる、との苦しい生活振りに驚いたといふ事實もある。

恩給法の改正ちかし

多年懸案中の恩給法改正に關し現内閣はその實現を期すべく恩給局長に命じて改正案立案中のところ今これが成案を得たので近日中に關係大藏次官と手を經て閣議に提出し承認を得ば直ちに條文を作成して通常議會に提出の方針なり、今回の改正案の要點は從來と其の内容を異にしその主眼は恩給金額を減額の外

貧困者救濟の爲御内幣金下賜

宮相思召を奉じ奔走

【東京廿四日發】天皇陛下に於かせられては廿日地方長官より農村の窮狀其他を御聽取遊ばされたが續行中の地方長官會議の報告で現はれた農民の衞生狀態は頗る憂慮すべきものであり此點に付長官達よりでも特に御軫念あらせられ、一木宮相は恩召を奉じ近く内相等關係官と愼重協議の上出來得る丈け急速に貧困者救濟の必要ありとして近く御内幣金御下賜の命下さる樣拜聞す

失業救濟策の牲

日支移民北米より送還

去月十八日横濱入港のプレシデント・ジャワソン號で支那人百四十六名、日本人二〇名計百六十六名の移民が北米より送還された、右の者等は密渡航者及び滯在期間の切れる者、或は國境越米國に潛入した者として米國の失業救濟法が實施され調査が嚴重になつた結果なりと

學校を罷めて子守り奉公

不況の嵐にもてあそばれ最近可憐な小學兒童が義務教育の半ばにも拘はらず子守奉公、賃銀勞働に從事してゐるもの男女各二名、學資不足男十名、女七名、家事手傳男四十八名、女五十一名といふ驚くべき數に上つてをり眞に涙なしでは見られぬ憐れなものばかりである

無煙炭の供給制限案解決

【東京十六日發】永井拓相より滿洲國に提示した撫順炭の輸入に關する從來の特別低利資金の融通機關設置等頗る滿進的大改正である

ピストルの嘆き 商船で

ピストル百三十挺打壞

最近ピストルの取締が躍起の大阪府警察部では大演習を前にして不用のものや無届のものを嚴重調査してゐる矢先、大阪商船會社では從來船舶警備用として備へつけてゐたピストルのあそれがあり、これを全部廢棄することになり警察署へ持込んだ、同署では藤本保安主任の手で百三〇挺をハンマーを振つて打壞した

關東軍の顧問決定

【東京二十四日發】陸軍では關東軍顧問として各方面の權威者を交渉中であるが廿二日に次の諸氏を顧問として委囑することに決定した

東京帝大工學部教授工博大島吉清（工業顧問）、元滿鐵總裁藤根重吉（交通顧問）、東京帝大農學試驗場技師農博安藤幸太郎（農業顧問）

尙、大島博士は商工省の燃料研究所長を兼務し我國燃料研究會の權威である

日本から航程一万哩を離れた裏世界の南米で暑さと闘ひつゝ、活動して居られる皆樣の勞苦を慰める爲め、今回態々なつかしい北海道の特産物を持つて參りました、仕事を終え一風呂浴び壺ヨリをかけて製造した飛切上等の物で、何所へ出しても恥しくない品です、同じバカリヤオでもバカリヤオ振りがちがひます、一度是非御ためしを

特産物品目

海産物の部（開鱈（バカリヤオ）、壺鮭（イシ）、鰻蒲燒、サルジイニヤ・コン・トマテ、粉末昆布、寒天其他

農産物の部（粉末除虫藥、ウエノピロトロン蔬菜類、柑橘類、バタタ、綿、米作其他農作物一切の害虫及蚊蠅驅除劑

取引御希望の方は至急左記へ御來談を願ひます

北海道特産物販路擴張特派員 北海道廳囑託 合田久市

聖市コンデ・デ・サルゼーダス街四一 電話 二一—三六九〇 常盤旅館内
サント・ス・サン・ピセンテ市ラルゴ・ジオオン・ペツソア
サン・ピセンテ公設市場 電話サン・ピセンテ一五八 高越商會内

聖市旅館同業組合
大阪商船會社指定切符取次所
コンセレーロ・フルメード街十六 小川旅館 電話 二一四四七六番
ポユーメ街十一 上地旅館 電話 二一一九二二 郵函 一二二五
コンセレーロ・フルメード街二 大和旅館
コンデ・デ・ピンニヤール街廿一 旭旅館 電話 二一一七八二番
コンデ・デ・ピンニヤール街一番〇二階 末廣旅館 電話 二一五六三八番
マウア街二九一 東京館 電話 四一一四七六番
コンデ・デ・サルゼーダス街四一 常盤旅館 電話 二一三六九〇番

Dr. Luiz Brandão Filho
ARARAQUARA
ドトール ルイス・ブランドン
巴里醫科大學ピエル・セビラウ教授調助手
伯國サエに滯納病院勤務

I. R. F. MATARAZZO
AGENCIADOR DE GORGELIN
IAMAMOTO NOSSAN SHOKAI
S. PAULO
山本農産商會事務所
ベロン・デ・ブラット十七
（聖市野菜市場前）
マクラーソ工業會社
胡麻栽培奬勵部
胡麻、大豆高價購入及び契約

M. FURUSAWA
DENTISTA
R. Barão de Duprat, 31-A — S. Paulo
古澤基 齒科醫
治療時間 午前九時—午後五時
聖市バロン・ブラン街三一A
（青物市場前）

高野鶴傳藥を御分け致します、本藥は牛、馬、豚等の妙藥で如何なる病氣も根治し、如何に痩衰へても本藥を服用さす時は直ぐ快復し、數十日後には肥滿し見違へる樣になります
一箱拾貳針レース（送料共）
其他醫藥貴品より安價で醫藥も及ばざる効果有る伯國藥草一切を御取次ぎ致します、是非一回御試し下さい
高野藤太
Tota Takano
Rua Verguero, 2728. Paulo

和洋支那 御料理 日本亭
聖市コンデ・デ・サルゼーダス三

醬油
ノロエスデ線 ブロミツソン驛
黑島醬油釀造所

かくてこそ日本人!!

山なす同胞の寄贈品に赤十字側から感謝

今次赤十字後援團の企ては明せずして全在伯同胞の厚志を促し其後地方より寄贈の通知引きもの切らず遂に去三日現金九コントス一三二餅の外米九十一俵、豆八七俵、バナナ一千房、ピンガ二百立、馬鈴薯一六俵

更にミーリョ、フバ、メンドイン等々自ら丹精込めて作つたものゝ寄贈で赤十字の方では其眞率な邦人の好意を衷心から感謝してゐる、後援團組織以來本部で最も活動してゐるのは峰谷亨一氏並に石原桂造氏で峰谷氏は自身で奔走の外店員一兩名を指揮して整理に働らしめ、石原氏は高岡博士の自動車を借り切りで市内外の戸別訪問をやつてゐる

レヂストロでは守備隊に寄附

聖市に赤十字後援團組織の報に接したレヂストロ郷では早速役員會を催して協議の結果コンミツソンを組織し

中野巌、杉ノ下伸吉、善元元一、渡邊常太郎、尾山龜太、出利葉政治

の六氏を委員に擧げて寄附募集に着手したが、折柄パラナ州からイタピンギー方面へ聯邦軍が押寄せて來るといふ風評に聖州軍の出張となり、ジュキア、レヂストロ、バルクラスー三ケ所に約二百の守備兵が派遣され其糧食を聖市から取寄せる狀態であつたので委員會で集めた金品は此等守備隊へ送ることにし取敢へず二日間に得られた

白米六〇袋、珈琲五袋、砂糖五袋、豆一〇袋、マンヂオカ粉一〇袋

を寄贈せる所隊長から鄭重な贈が來、其後も集り次第寄贈することになつてゐると、因に植民地並全部の貨物自動車を復發され、市醫地のブラジル人は何處へか姿を消して仕舞つたと

外人と共同して赤十字へ直送

インヂアナ在留者

インヂアナ在留同胞は赤十字後援立の報と同時に直ちに活動を開始したが恰度同地に同目的の伯國人のコムミツソンが出來たので集つたミーリョ一袋、バタクチーニャ三袋、フエジョン一袋を伯國人の手を通して赤字へ直送した、右寄附者は

馬鈴薯二袋　小畠源四郎、同ミーリョ二袋宛　淵上淺吉、高橋金一、森川卯八郎

同一袋宛　沖野吾一、中江藤三、大塚謙次、瀬戸山榮吉、中山利吉、山本正義、山本武俊、松岡時次郎

フエジョン一袋　堀川作次

オウリニヨス日會駐屯軍へ寄贈

ソロカバナ線オウリニヨス在の同胞は赤十字後援會の新聞記事をみるや直ちに活動を始め瞬く間に米、豆、マンヂオカなど六十袋餘りを集め聖市向け發送の手筈をして居たところ、折柄州境警備のため千五百の兵隊が來て居るのに聖市本部から糧食が來ない始末にオウリニヨス市長から特に日會向け食糧品はサンパウロへ送らず同地駐屯の軍隊に寄贈して貰ひ度いとのことに日會も快諾し直ちにその運びにしたとは近頃さばけた氣のきいたやり方である、尚同地同胞の寄附者は別項の通りである

酒賣らぬ夜

聖市々長は時局にかんがみ夜十時から朝十時まで市内に於ける酒精飲料の小賣を嚴禁した

同仁會補助金二割天引

近く豫算編成替か

同仁會の今年外務省補助金は先週下付されたが、今年度は二割天引の上カンビオは三餅五百に仕切られた爲三万六千圓、四餅五百換の豫算より六十コントス餘の激減を來し、爲に豫算の根本的編成替の必要起り近く役員會を催して原案を作成其他に關し協議することになつてゐると

怯ち氣ついたアマゾン移民

ベレムから聖州へ轉住

先頃サントス入港のらぶらた丸には日本より直航の者の外リオから二十四人の移民が便乘、上陸後は夫々海興の手で耕地に送られたが

右はアマゾン行移民で六月末渡來ベレン迄行つたのであるが、實際今後身を落ち付くべき植民地はかねて胸に畫いたあくがれの樂園とは似てもつかぬ所との話にすつかりあちけ上り大いに悲觀したが、今更會社の宣傳を呪つて見ても始まらず、見る角も日本人の澤山居るサンパウロへ行かうと恨をのんでリオへ引返し幸ひ入港のらぶらた丸に便乘サントスへやつてきたのであると

世界日曜學校第十一回大會リオで開催

リオ市々立劇場に於て開かれた今次の大會には生憎革命騒ぎでサンパウロから出席すべき筈の三百餘名が缺席したが、政府側では市立劇場を會場として提供せる外開會式には大統領名代を臨席せしめる等特に好意を寄せた

今次大會には五十ケ國代表約千五百名の參加あり、日本より故安村三郎氏並に聖州義塾主小林榮登利氏が列席したが兩氏は革命運動物資の爲廿一日夜當市發、途を南ミナスに

聖市日會で困窮者を救濟

財源の續く範圍で

事變の爲市内に於ける商賣は或る種のものを除く外ペツタリ上つて仕舞ひそれが爲相當困つてゐる人達もあるといふので、日本人會では去土曜役員會の結果例によつて領事館から救濟金を貸して貰ひ之を分配しやうと決議、矢崎會長は翌日曜内山總領事を訪問、陳情に及んだところ

金貸しは出來ないと

先づ斷はられたが更に腰强く談判の結果一兩日考へて貰ふ迄に漕ぎ付けた

而して昨三日得た總領事の返事は、今日本人會に金を渡すことは出來ないが、在留同胞中困窮してゐる者があれば領事館としてどうにか處置する、といふことで、同夜矢崎會長は役員會で之を報告したが、切角の思ひ付であるからとて日會の手でへ行く者は通行許可證の持の必要があるドツカは去十三日入港した英國石炭船が此程出港許可を得て出帆し殘つてゐるのは内國船九隻丈けとなり荷揚人夫は全く職がなくなつた、それで赤十字が毎日焚出してゐる三千人分の食事は兵隊よりも此等荷揚人足に配られてゐると

事變突發後數日を出でずして州内旅行は自由となつてゐたが先週末より特に中央線モジ驛以上へ行く者に限り通行許可證を要することゝなつた

通行許可證はモジ驛以北

事變突發後數日を出でずして州内旅行は自由となつてゐたが先週末より特に中央線モジ驛以上へ行く者に限り通行許可證を要することゝなつた

青菜の近郊蔬菜業者

聖市近郊蔬菜業者

事變の爲最初から痛手を受けたのは聖市近郊の蔬菜業者で、カミニオンは徵發され、リオ、サントスへの出荷はとまるの八方塞り、拆柄苺の出廻期に相當して熟したものを捨てる譯にも行かず叩かれ放題の安値でも仕方なく眼をつぶつて賣つてゐる

チヨイとあなた!!

これからは病院も繁昌

モダン・バストス風景

超モダン植民地——ブラ拓のバストス移住地は〜一、二年の間に長足の進歩をし、ランシヤリア驛から三十八キロも離れた山奥にあんな立派な市街地があるふとは、と觀察者をして驚歎せしめてゐる程で移住地の中央事務所々在地は立派な市街をなしてをり、雜貨店、飲食店等軒を並べクマツキ屋、賭博場、シネマ等の冗費設備も完備してゐる、最近移住地より出盛した人は曙るバストスでは昨年外人カマラーダの殺人事件があつて以來市街地内ではアルコール類の販賣を禁じてゐたが、昨今その御法度を解禁されて目下は數名の娘子軍も舞ひ込んで盛況民三百二十五名の上陸手續をとり戰線を突破して大會開會前二時間の二十五日正午リオに着いた

因に閉會式は三十一日擧行

荷揚人足にたき出し

サントス海岸地帶の警戒は相當嚴重となりサンヴイセンテの橋を渡るもの並にグワルジヤ方面へ行く者は通行許可證の持の必要があるドツカは去十三日入港した英國石炭船が此程出港許可を得て出帆し殘つてゐるのは内國船九隻丈けとなり荷揚人夫は全く職がなくなつた、それで赤十字が毎日焚出してゐる三千人分の食事は兵隊よりも此等荷揚人足に配られてゐると

民の上陸直後拔錨南下し途中、本船では移民監督として北海道海外協會理事佐々木錄之助氏が來た、氏は直ちに奥地を視察する筈であつたが事變の爲出發を見合せ旅館に投宿中も滯りなく濟み、翌日全部上陸配耕は三十日迄に片附き船は移

診療時間　午後三時より六時まで
醫學博士　高岡專太郎
コンセレーロ　フルメーア街四五
電話二一四〇七五番

Aviario Aurora　AV. S. JOÃO, 185-B S. PAULO
Chacara e Avicultura Martins
Auto Estrada de Concreto, 30 - Indianopolis - S. paulo

養鶏
優良純粹種雛
卵用孵化保證付
及び飼育
魚類
餌各種
アビアリオ
アビウローラ
聖市アベニーダ・サンジオン一八五B

求人
一、家族者數家族
一、獨身青年數名
一、仕事、野菜作り
詳細は左記へ御照會を乞ふ
中央線モジ・ダス・クルーゼス
阿南
T. ANAN
R. 13 de Maio, 61
Mogy das Cruzes E. F. C. B.

Elixir Nogueira
grande depurativo de sangue
梅毒妙藥
萬國藥店にあり

謹告
今般突發せる革命事件に遭遇し聖市在留邦人中本會並に幹部に救濟方を相談せらるゝに鑑み本會は緊急臨時役員會を開き事務所を左記の場所に移轉し
一、聖市居住者にして全く万途尽き方の救濟相談
二、醫藥無料の相談
三、職業紹介の相談
右の事務を早速開始することに決定し之に依り謹告候也
昭和七年八月三日
サンパウロ日本人會
事務所　コンデ街二拾、電話二二六八八、郵函一八五〇
執務時間　午前九時——十一時、午後一時——五時

農産物品評會並講習會
一、期日　昭和七年八月十九日より同廿一日迄(三日間)
一、場所　マリリア市バウリスタ延長線青年聯盟本部會館に於て
一、主催　バウリスタ延長線青年聯盟
一、目的　農産奬勵
一、範圍　バウリスタ延長線内の農産物に限る
一、賞品　勸業部の寄附による
一、出品者資格　バウリスタ延長線在住日本人に限る
一、審査員　勸業部技師
一、出品者の注意
イ、鐵道便を以て出品せられる方はマリリア驛迄の運賃は出品者の負擔とす、當驛よりの運搬料は主催者の負擔とす、八月十五日迄に到着する樣に發送する事
ロ、出品物は返還せず但し特種のものは此の限りに非ず
ハ、麻袋、親、白米、フエイジヨン、マモナ、ミーリョ等凡て四キロ以上のこと其他適宜
綿は二キロ以上のこと
ニ、出品農産物たる以上は如何なるものにてもよし
ホ、野菜類に限り八月十八日午前中迄に本部へ到着する樣發送する事
ヘ、八月十九日廿日講習及實習のこと
ト、八月廿一日表彰式擧行
主催　バウリスタ延長線青年聯盟本部
各位

ブラ拓
本年度分少僅殘讓
生産資金一百五トンコ
限制に數家族付貸
家族付貸
申込急至
下さい
FAZENDA BASTOS Est. RANCHARIA L. Sorocabana
FAZENDA TIETÉ Est. LUSSANVIRA L. Noroeste
FAZENDA NOVA ALLIANÇA Est. LUSSANVIRA L. Noroeste
▽滿植完成に近き
バストス移住地
▽チエテー川架橋で
(起工)急展歩する
チエテ移住地
▽鐵道來らんとする
モダン最良
處女地
ノーバアリアンサ
移住地
コーヒーの行詰りを
多角農加工で打開
事變に拘らず加工場建設中

月刊雑誌
大懸賞付年極豫約募集
母國月刊雑誌類、大懸賞付奉仕的値段にて豫約致します、此機を逸せず直樣御申込下さい
懸賞品目、定價表其他の詳細は六月十六日發行日伯新聞紙上に發表してありますがカタログ御入用なれば御申越し次第御送り致します
日本品直輸入商　羽瀬商店
聖市　郵函二A

凡ゆる好條件を具備
サンパウロ市コンデ街四三
石井七五三一
電話二一一三五〇番
石井洋服店
サントス市ラルゴ・セッテ・デセッテムブロ一三成功館内
江村小次郎

NIPPAK SHIMBUN

Jornal Japonez de maior circulação no Brasil

Anno XVIII | São Paulo — Quinta-feira, 4 de Agosto de 1932 | Num. 792

O movimento Constitucionalista

continúa firme em todas as fronteiras do Estado

Resumo de varias noticias

Pelas noticias vindas de todas as linhas de frente continúam as forças constitucionalistas a combater com grande vantagem em todos os sectores em que estão operando.

Grandes combates foram travados entre Bury e Itararé onde um trem blindado das forças paulistas desbaratou os dictatoriaes do Paraná causando-lhes mais de 800 baixas.

No sector sul estão tomadas pelos paulistas as cidades de Ourinhos, Capella da Ribeira, Léoflora, Jacarezinho, Ribeirão Claro, Santo Antonio da Platina e Cambará.

Na linha de Queluz progrediu consideravelmente em todos os sentidos.

No sector de Tunnel ás forças dictatoriaes estão em franco declinio.

Em Piquete as linhas paulistas dominam até a divisa de Minas.

No sector de Poços de Caldas reina calma.

— Chegaram a esta capital diversos officiaes que se achavam detidos no navio prisão «Pedro I», no Rio, e que conseguiram fugir. São elles: Theopompo Vasconcellos de Godoy, A. O' Reilly de Sousa, A. Leite Penteado, J. Corrêa Velho e Octavio Póvoa, Todos já se acham incorporados nas fileiras constitucionalistas.

— Vindos do Rio de Janeiro afim de abraçar a causa constitucionalista chegaram a Taubaté tres officiaes superiores do Exercito.

Em declarações feitas ás autoridades daquella cidade, affirmaram ter o dictador ordenado ao commandante do couraçado "São Paulo" a preparação daquelle vaso de guerra para o transporte de tropas para Santos.

Em resposta, aquelle official declarou que essa ordem sómente poderia ser cumprida, depois de demittida a officialidade daquelle vaso de guerra".

— Os aviões da dictadura continúam a lançar bombas, fazendo alvo os depositos-tanques de gazolina existentes em Santos, sem acertar ao alvo. Uma das bombas cahindo nas usinas da força da "Ligth" damnificou uma das paredes e feriu tres empregados.

— Na frente Sul um dos aviões, pilotado pelo aviador João Gomes Ribeiro Junior, desenvolvendo com extraordinaria coragem manobras de rara precisão, conseguiu inutilizar um avião adversario, em cuja perseguição sahira. O denodo com que se portou o aviador João Gomes Ribeiro Junior, cujo apparelho ficou crivado de balas, causou admiração a toda gente.

— Chegou a Santos o vapor "Commandante Alcino" trazendo do Rio mais de 500 passageiros para desembarcar, mas devido a não ter entrado em um accordo com o commandante daquelle porto tornou sahir sem desembarcar os passageiros. Mais de 700 pessoas esperavam em Santos para voltar ao Rio naquelle vapor, tendo perdido a viagem.

— Segundos as estatisticas elaboradas S. Paulo possue trigo, algodão e gazolina para o consumo de seis mezes.

NIPPAK SHIMBUN

Director-Proprietario:
SACK MIURA

Redactor da pagina brasileira: José Solé

Redacção, Administração e Officinas:
Rua da Liberdade, 144-A e 146
Caixa Postal, 375
Telephone 2-3926
Endereço Telegraphico: "Nippak"
SÃO PAULO - Brasil

ASSIGNATURAS

Para o Brasil

Por anno	30$000
Por semestre	16$000
Numero avulso	$500

Para o Exterior

Por anno	60$000

Annuncios

Temos á disposição dos interessados uma labella completa de preços para annuncios nesta folha. Telephone 2-3926

Augmentando os braços para a lavoura

O movimento immigratorio para o nosso paiz augmenta consideravelmente.

Pelo vapor "La Plata Maru", entrado em Santos a 27 do mez passado, vieram 772 immigrantes japonezes, e pelo "Africa Maru", entrado a 28 do mesmo mez, mais 148, todos elles destinados á lavoura do interior.

De outros paizes tambem continuam a vir immigrantes.

A respeito dos immigrantes, um jornalista, ha pouco tempo, indagou do dr. Fernando Costa, Secretario da Agricultura: — Qual é a immigração que mais nos convém?

E obteve de s. excia. a seguinte resposta:

—«Toda immigração nos convém, desde que os immigrantes sejam fortes, sadios e agricultores, isto é, que já estejam affeitos aos trabalhos ruraes. Ultimamente, temos recebido a immigração japoneza em maior escala.

A principio, devido á falta de certa orientação, os primeiros immigrantes não eram tão bons. Mas, hoje, as autoridades japonezas, com a pratica e experiencia adquiridas, melhoraram muito a sua emigração para a lavoura, de sorte que temos tido trabalhadores muito bons. Nós mesmo, em nossas propriedades, estamos já — ha cerca de 3 annos — com colonos japonezes que muito nos satisfazem. São trabalhadores, sobrios, methodicos, economicos, cumpridores de suas obrigações, moralizados e intelligentes.»

Para que se possa avaliar o progresso da immigração para S. Paulo, damos o resumo do movimento immigratorio do anno passado.

A Inspectoria de Immigração, em Santos, registrou durante o anno passado, 17.692 immigrantes de varias nacionalidades, espontaneos, dos quaes 5.842 foram, immediatamente, encaminhados para a lavoura do Estado. O total dos encaminhados, para as fazendas, foi de 10.061.

Durante o anno desembarcaram 2.825 passageiros de primeira classe e 3.487 de segunda, os quaes, sommados com o numero de immigrantes, dão um total de 34.004 entrados no Estado, pelo porto de Santos, procedentes do estrangeiro e outros Estados do Brasil.

Dos 17.692 immigrantes entrados pelo porto de Santos, durante o anno de 1931, 14.054 eram maiores de 12 annos. Destes colonos, 11.323 pertenciam ao sexo masculino, 7.392 eram casados, 9.855 solteiros e 445 viuvos. Quanto á profissão, 7.264 eram agricultores, 9.481 diversos e 947 artistas.

Quanto á instrucção dos immigrantes que entraram pelo porto de Santos, durante o anno de 1931, verifica-se que a percentagem dos que sabem lêr é muito maior que a dos analphabetos. Estes são em numero de 3.919 e aquelles de 13.773.

Abaixo damos uma classificação desses immigrantes:

Nacionalidades	Sabem lêr	Não sabem lêr	Total
Japonezes	4.056	1.343	5.399
Brasileiros	3.919	1.068	4.987
Italianos	1.136	167	1.303
Portuguezes	1.627	763	2.390
Hespanhóes	597	154	701
Allemães	795	87	882
Polacos	436	148	584
Russos	113	16	128
Tchecoslovacos	104	18	129
Austriacos	98	6	104
Lethonios	88	27	115
Rumenos	79	9	88
Hungaros	57	6	63

Por essa ligeira demonstração conclue-se, que o paiz que apresentou maior numero de alphabetizados foi a Allemanha. Vindo em segundo lugar a Italia e em terceiro a Tcheco-Slovaquia.

Quanto á religião verifica-se que dos immigrantes, 10.756 são catholicos e 6.936 acatholicos. O numero maior de catholicos é representado pelos portuguezes com 2.390, e nenhum acatholico; e, em segundo lugar, vem os brasileiros com 9.110 catholicos e 77 acatholicos. O maior numero de acatholicos é representado pelo Japão com 5.389 e apenas 10 catholicos; italianos, 1.301 são catholicos e acatholicos, 2; hespanhóes, 749 são catholicos e 2 acatholicos; allemães, 301 são catholicos e 531 acatholicos; polaco, 216 são catholicos e 368 acatholicos.

Liga Japoneza pró-Cruz Vermelha Brasileira

A Liga Japoneza pró-Cruz Vermelha Brasileira continúa prestando o seu apoio aquella instituição para o que já angariou:

Arroz limpo, 91 1/2 saccas; feijão, 87 1/2 saccas; Bananas, 1.000 cachos; aguardente 200 litros; batatinhas, 16 saccas; amendoim, 26 saccas; milho, 17 saccas; mandioca, 1 sacco; fubá, 1 sacco; Pixinol (medicamentos), 5 duzias; Algodão, 1 kilo; macarrão, 1 arroba, e em dinheiro, 5:648$400.

"Pão de Guerra"

Afim de alongar o stock de farinha de trigo existente em S. Paulo, o dr. Pedro de Toledo, governador do Estado, assignou, sabbado passado, o decreto chamado «Pão de Guerra», que se reduz ao seguinte:

«Fica adoptado um typo unico para o fabrico da farinha de trigo nos moinhos, de modo que esta dê um rendimento minimo de 80 °/₀ sobre o trigo em grão.

O pão de guerra será feito obrigatoriamente com a farinha de trigo misturada, na proporção de 5 °/₀ de fubá de milho, sendo esta porcentagem augmentada progressivamente, de accôrdo com os estoques.

No interior do Estado, além do fubá de milho, poderá ser misturada á farinha de trigo a raspa de mandioca».

E, a seguir, vem os artigos e paragraphos onde é nomeada a Commissão do Pão de Guerra que é a incumbida de fiscalisar e fazer cumprir este decreto, que entrou em vigor na data da sua assignatura.

Os «bonus» do Thesouro do Estado

O sr. P. Freitas director geral da Secretaria da Fazenda e do Thesouro do Estado determinou aos snrs. exactores pela Circular n.º 366 de 27 de julho de 1932, que acceitem, como dinheiro, para todos os effeitos, os bonus da emmissão de emmergencia, auctorizada pelo Decreto n.º 5.585 de 14 do corrente, para substituir as disponibilidades dos Bancos deste Estado no Banco do Brasil.

Esses bonus que têm a triplice garantia do credito do Estado, do Banco que saccou o cheque sobre o Banco do Brasil e a deste como visador do cheque, são de curso forçado, com poder liberatorio, não podendo a sua acceitação dentro do territorio do Estado, soffrer qualquer recusa seja de quem fôr, nem depender de nenhuma formalidade, salvo naturalmente, a da verificação da sua legitimidade, no acto de recebimento.

Os caracteristicos desses bonus são os constantes dos fac-similes que vão ser enviados ás Estações.

Os bonus, que levarão a rubrica do thesoureiro e de funccionarios superiores do Thesouro, serão dos seguintes valores: De 10:000$000, 5:000$000, ... 1:000$000, 500$000, 100$000, . . . 50$000, 20$000, 10$000 e de 5$000.

Os snrs. exactores deverão, quanto a saques e supprimentos, voltar ao regime anterior á circular n.º 362 de 12 do corrente que foi expedida para vigorar sómente o periodo dos feriados.

NOTICIAS DO JAPÃO

A China nega-se a pagar

Noticias vindas de Shanghai dizem que o governo da China resolveu não effectuar por enquanto o pagamento ao Japão das indemnizações pelos damnos causados no levante dos "boxers"

Novas taxas aduaneiras

O governo chinez acaba de crear taxas aduaneiras para as mercadorias procedentes da Mandchuria, como represalia contra as confiscações feitas por estas das rendas aduaneiras.

Um ataque repellido

A guarnição japoneza de Fuchung, na China, foi atacada de surpreza, em seu ponto de aquartelamente, por grande quantidade de irregulares.

Empenhando-se em renhido combate a guarnição conseguiu fazer fugir os assaltantes que deixaram mais de 200 mortos e grande numero de feridos.

A guarnição de Fuchung teve 50 baixas.

Congresso mundial de esperanto

Inaugurou-se a 1 do corrente na Sorbone o 24.º congresso mundial de esperanto, onde compareceram 1.500 delegados representando 35 paizes. Os delegados japonezes são em numero de cinco, tres professores da Universidade Imperial de Tokio e dois da "Ido Leniguo Osaka".

Impressos?

Procure a

TYP. "NIPP

Rua Liberd
São Paulo

São Paulo

A industria, exportação e importação do Estado

No actual movimento para a constitucionalização do Paiz, São Paulo, tem um papel saliente e de grande importancia. Nenhum dos outros Estados da União, soffre as consequencias da falta de um governo constituido como S. Paulo. As suas industrias, o seu commercio, desde a posse do governo provisorio vem soffrendo demasiadamente á ponto de estar quazi asphysiados.

Para que se comprehenda o interesse de S. Paulo em normalizar a situação do Paiz, basta dizer que o total de seu movimento de exportação e importação ha dois annos atraz sommou tanto quanto os vinte Estados da União juntos.

Eis a estatistica referente aos nove primeiros mezes de 1930.

Amazonas, exportou 37.602 contos, importou 6.810 contos. Saldo 30.792 contos.

Pará, exportou 37.747 contos, importou 31.104 contos. Saldo 6.643 contos.

Maranhão, exportou 28.564 contos, importou 6.954 contos. A exportação do Piauhy está incluida nesse total, porque é feita pela ilha do Cajueiro. A importação do Piauhy foi de 3.087 contos e não está incluida no total do Maranhão.

Ceará, exportou 41.434 contos, importou 16.784 contos. Saldo 24.650 contos.

Rio Grande do Sul, exportou 13.588 contos, importou 9.950. Saldo 3.630.

Parahyba, exportou 24.316 contos, importou 15.674. Saldo 8.642 contos.

Pernambuco, exportou 58.795 contos, importou 111.909. *Deficit* 52.114 contos.

Alagoas, exportou 4.500 contos, importou 13.529 contos. *Deficit* 9.029 contos.

Sergipe, exportou 1.395 contos, importou 2.229. *Deficit* 824 contos.

Bahia, exportou 150.453 contos, importou 61.876. Saldo 88.577 contos.

Espirito Santo, exportou 102.906 contos, importou 6.410 contos. Saldo 96.496 conto. E' de notar que uma parte da producção de Minas Geraes sáe pelo porto de Victoria.

Capital Federal, exportou . . . 246.603 contos, importou 750.946. *Deficit* 504.143 contos. Pelo porto desta capital sáe uma outra parte da producção de Minas, de São Paulo e do Rio de Janeiro, que só figura na estatistica com a importação de 1.414 contos.

São Paulo, exportou 1.132.619 contos, importou 628.067. Saldo 504.552 contos.

Paraná, exportou 120.807 contos, importou 21.889 contos. Saldo 98.918 contos.

Santa Catharina, exportou . . . 35.410 contos, importou 16.967 contos. Saldo 18.457 contos.

Rio Grande do Sul, exportou 234.624 contos, importou 126.836. Saldo 117.788 contos.

Matto Grosso, exportou 25.618 contos, importou 5.364 contos. Saldo 20.244 contos.

Minas Geraes, figura com a importação, pela Alfandega secca de Bello Horizonte, de 802 contos, apenas.

As Industrias Paulistas

A pujança industrial de São Paulo é hoje, uma formosissima realidade. As ultimas estatisticas officiaes publicadas recentemente mostram bem a que grão de importancia e verdadeiro progresso já attingiu a industria em São Paulo.

Assim em 1930, existiam no grande Estado brasileiro, sem se triz, num total de 76.021 cavallos. A producção dessas fabricas attingiu a somma de . . . . . 2.281.878:267$883.

Os estabelecimentos que maior contingente de operarios occuparam foram os de tecicos de algodão; seguiam-se os de tecidos de lã, seda, juta e malha. Depois vinha a industria de alimentação, construcção, mobiliario, metallurgica, chimicas e analogas, graphicas, e outras industrias diversas de menor importancia, com capitaes inferiores a cem contos de réis.

渡邊會計事務所

一般商業登錄
帳簿整理
營業許可手續

聖市コンセリエーロ フルタード街八一番
公認會計士 渡邊儀平
電話 二・三八六七番

Desappareceu a barca "Acre"

Noticias vindas de Santos dizem que fazem vinte dias, sahiu barra afóra a barca "Acre" da Companhia de Pesca Japoneza e até agora não se sabe do seu paradeiro. Ignora-se se a embarcação tendo tomado o rumo de Peranaguá tenha ficado preza naquelle estuario ou se outra qualquer [illegible] sobresalto pelo mysterio que reina em torno do caso.

Reunião das Escolas Dominicanas

No Theatro Municipal do Rio de Janeiro realizou-se no dia 27 do p. p. o 11.º Congresso Mundial das Escolas Dominicanas, comparecendo a essa reunião representantes de 50 paizes.

Representando o Japão compareceu o rvdo. Yosumura, que entre outras cousas disse que se sentia feliz por ser portador do carinhoso amplexo de milhões de irmãos do continente asiatico.

A X OLYMPIADA

Iniciaram-se em Los Angeles sabbado passado, com um enthusiasmo nunca visto, as primeiras provas da X Olympiadas.

Os japonezes conseguiram, logo no primeiro dia levantar o 3.º logar, os brasileiros o 5.º

Na prova de 400 metros, barreiras, registraram-se os seguintes resultados: 1.a série — 1.º E. Unidos; 2.º idem; 3.º Japão.

Na 2.º série classificou-se o brasileiro Sylvio Padilha no 5º. posto.

A França conquistou a Taça Davis

Terminou domingo ultimo, em Paris, o campeonato da Taça Davis, á qual o Japão foi um dos competidores que muito se destacou.

Numeroso publico calculado em mais de trinta mil pessôas foi assistir ás partidas de tenis. Nas duplas mistas o celebre jogador Cochet perdeu para a equipe norte-americana. Nas duplas porém, a dupla francesa, [illegible] ta de Cochet e Brugnon, [illegible]